



R05 学習におけるICT 活用①

～ 使う前の考え方を中心に ～

ステラ

京都市教育委員会 総合育成支援課

ICT専門主事 高松 崇

Self-introduction

主な活動と経歴

●本年度

京都市教育委員会 総合育成支援課 ICT専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム（宇治支援学校SSC） 外部専門家

京都府立向日が丘支援学校 相談支援センター アドバイザー

滋賀県教育委員会 特別支援教育ICT活用PJ トータルアドバイザー

NPO法人 支援機器普及促進協会 理事長

放課後ディサービス・フリースクール アドバイザー



●昨年度以前

京都市 呉竹総合支援学校・東総合支援学校 特別非常勤講師

京都市 携帯電話市民インストラクター

京都市 ICT活用支援員（総合支援学校ICTコーディネーター）

京都市 総合育成支援員（発達障害児支援）

京都市 精神障害者授産施設 京都市朱雀工房 統括職業生活支援員

京都市 地域若者サポート（引きこもり支援）

京都府教育委員会 社会教育委員

京都府高等技術専門校 在職者訓練インストラクター



私も、通所生活介護施設に通う三男がおります

18番テトラソミー

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりしました

18テトラソミーの子の成長

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりしました

2014-12-27 13:54:33

テーマ：成長記録

プロフィール



プロフィール | なう | ピグの部屋

ニックネーム：menis18

性別：たかちゃん

自己紹介：

18番テトラソミーという遺伝子障害は非常に

12月7日にはお母さんと一緒に
SL北びわこ号（米原から木ノ本）にも乗ってきました
梅小路機関車館のSLとは違い、40分の自然の中を走ったそうです





夏休みの宿題

8月15日(土)

しゅくはくがくしゅう



ドリトルでおとまりしたよ
プールとボウリングがた
のしかったよ

7月17日(金)

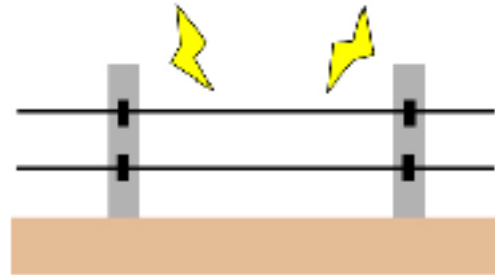
なつやすみじゃないけど



おとうさんと、おかあさん
と、3にんで きんてつとつ
きゅう ひのとり としまか
ぜにのったよ

Topics

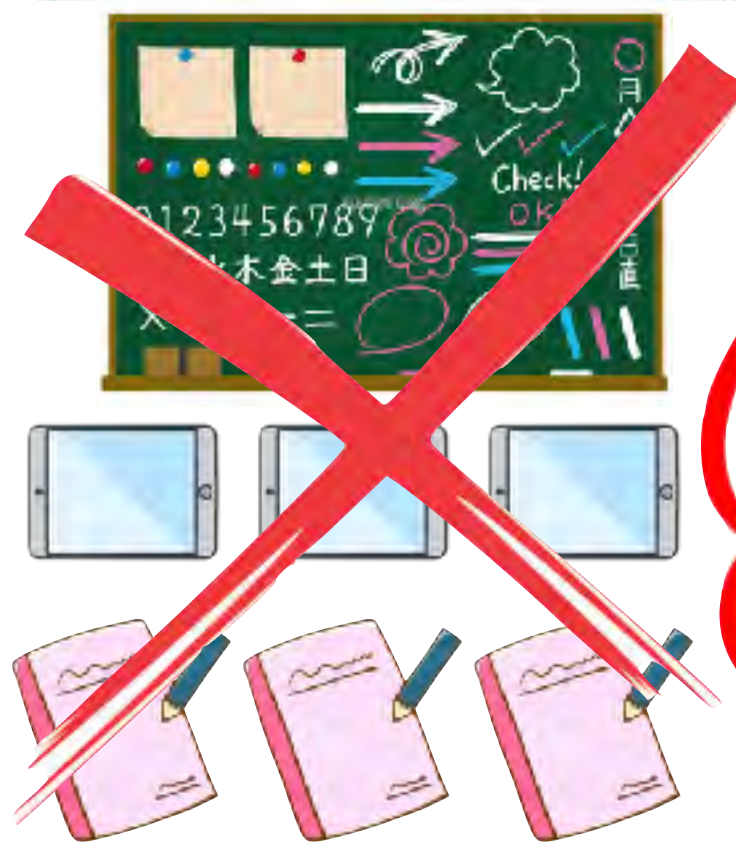
前後に調整する工夫



食べごろ



学びごろ



✗ ツールを平等

○ 学びを平等

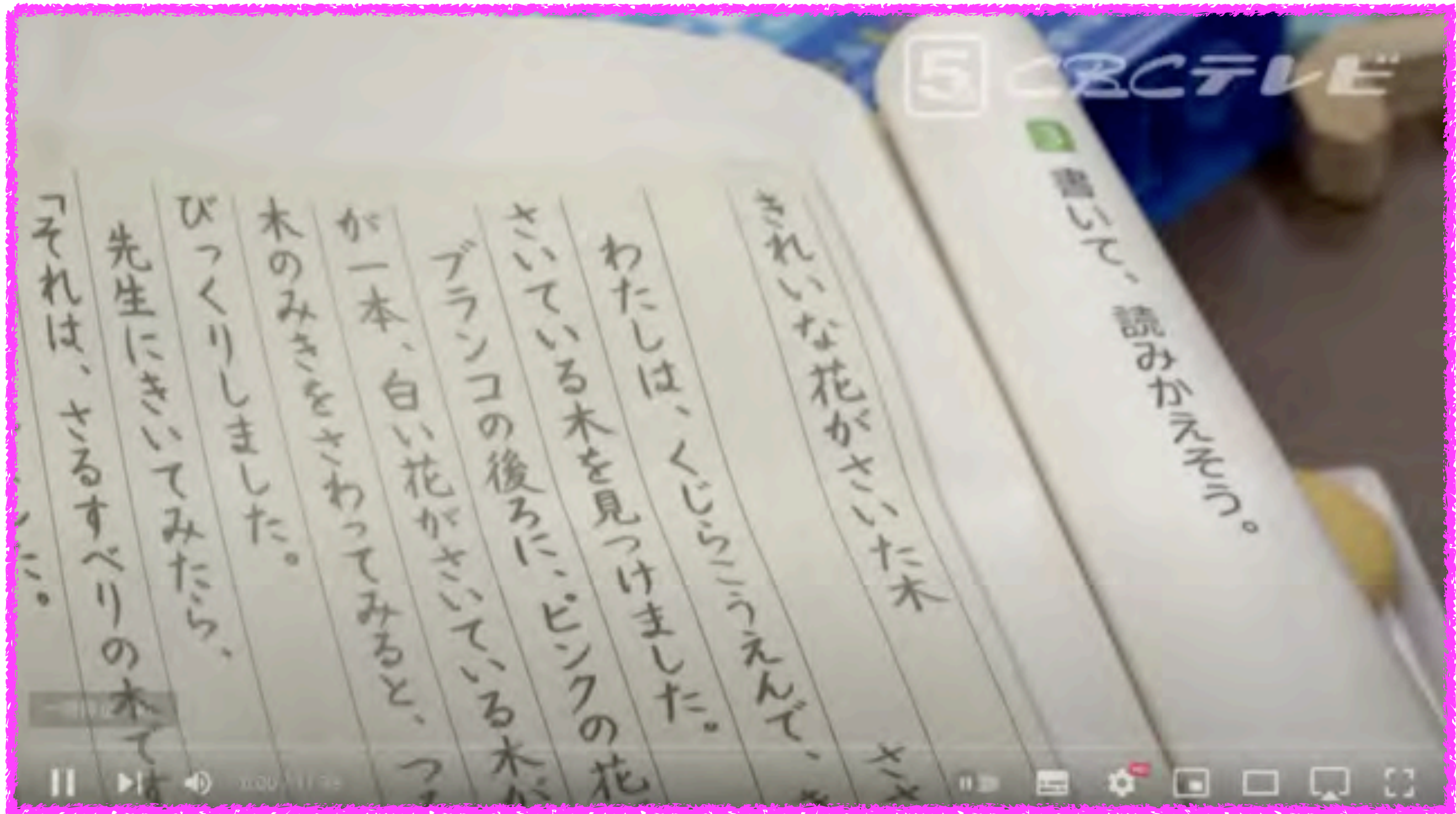
⇐ After GIGA

動画

【書字障害】 中学3年生の挑戦...字は書けなくても“得意”を伸ばしていく！ “パソコンは僕の武器” 山形 NNNセレクション



「ディスレクシア」とは！？日本人の15人に1人 気づかれにくい学習障害 ドキュメンタリー

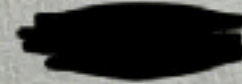


「文字がゆがむ」 “読み書き障害”少年の学びは - NEWS23



合格通知書

受験番号

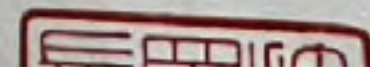


氏 名 松谷 知直

あなたは、令和6年度 長岡技術科学大学 大学院工学研究科修士課程
入学者選抜試験の結果、工学専攻 物質生物工学分野に合格したので通知
します。

令和5年7月13日

長岡技術科学大学長



報道特集

障害がある子どもと共に インクルーシブ教育が変えるもの



「学校行きたくない」の言葉は子どもにとっては問題の始まりではなく最終段階【信州大学医学部子どものこころの発達医学教室教授本田秀夫先生】

行き渋りのお子さんに関して



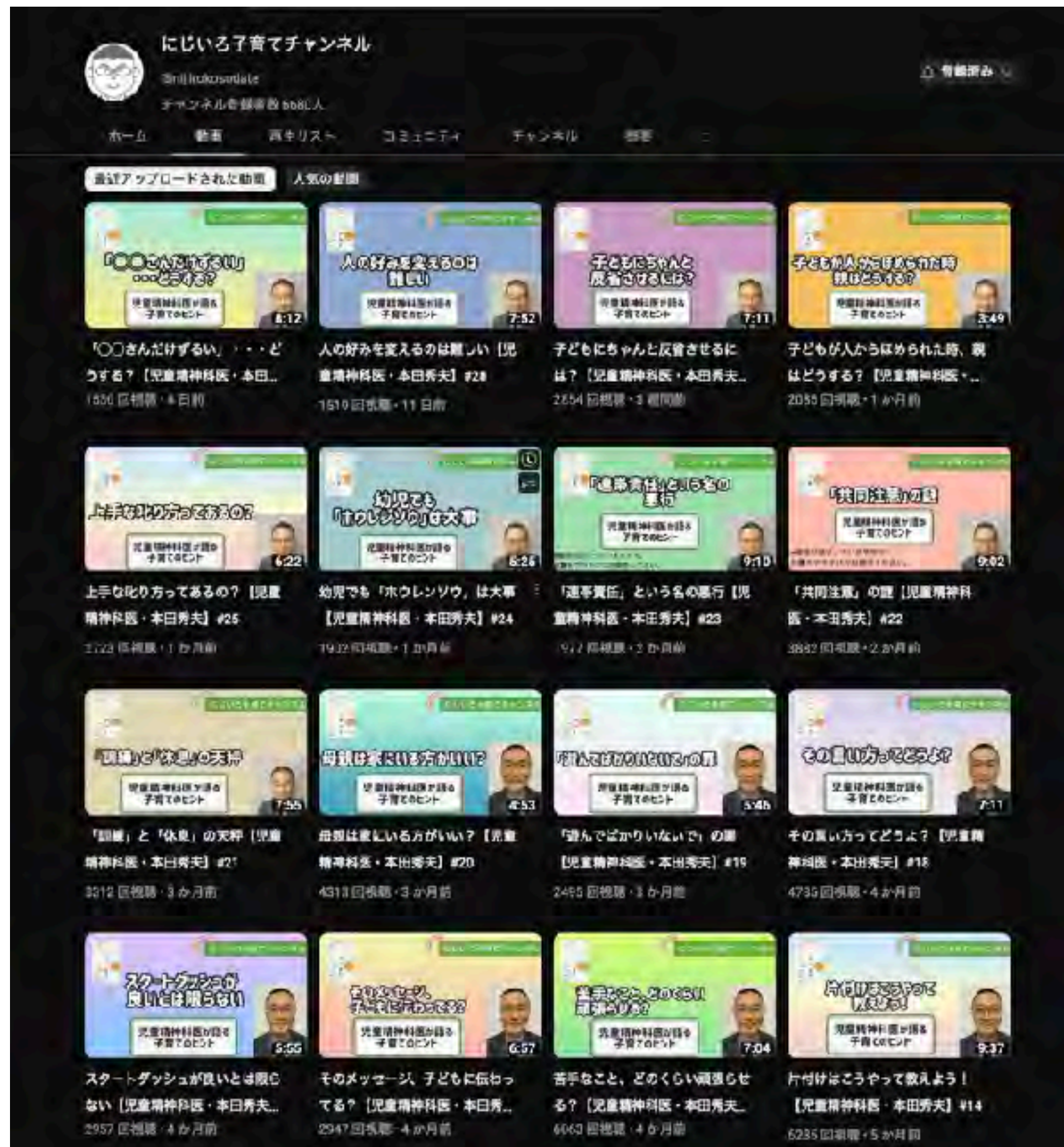
「学校に来れば元気ですよ」と
先生には言われますが...

以前から学校への行き渋りがあり癇癢起こしたり泣き叫んだりする時もあります。学校の先生は「学校に来れば元気ですよ」と言っています。行って欲しい気持ち私(母親)にはあるので、連れて行っていますが、このままで良いのでしょうか？

だからよく言うんですけど

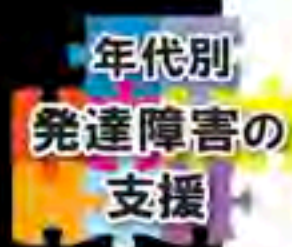


本田秀夫 「にじいろ子育てチャンネル」



【年代別 発達障害の支援】 思春期の支援

信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 児童精神科



発達障害本来の特性とそうでないもの



本来の特性

- 対人関係・コミュニケーション・こだわり・感覚の異常・活動のパターン化 (ASD)
- 多動・衝動・不注意 (ADHD)
- 読字・書字・計算 (SLD)
- 粗大運動・微細協調運動 (DCD)

本来の特性ではないもの

- 感情・情緒の変動
- 睡眠の異常

症状は基本的には悪化しない

発達障害の「症状」は、 自然経過で悪化はしない



ほとんどの場合、悪化しているのは環境との相性

- クラス替え
- 部署の異動
- 担任・上司の交代
- 教育方針の変更
- 友人の態度の変化 など

育て方ではなく、育ち方



年代別
発達障害の
支援

育ち方の5タイプ

■ 特性特異的教育タイプ

特性を理解して教育の場を提供

■ 放任タイプ

ほったらかし！ 内の子は大丈夫

■ 過剰訓練タイプ

苦手な事をことさらに頑張らせる

■ 自主性過尊重タイプ

特異な才能を事さらに期待する

■ ハラスメント・タイプ

身体的・心理的虐待

→ 二次障害を起こすリスクが大きい

みんなと一緒には非常に辛い

年代別
発達障害の
支援



「選好性(preference)」からみた自閉スペクトラム

関心

特定の物に強い興味をもつ
(反面, それ以外の物にはほとんど興味がない)

やり方

特定の手順を繰り返すことにこだわる
常同的な動作を繰り返す

ペースの維持

他者にペースを乱されたくない

(本田, 2018)

本人達は相当まわりに合わせようとしている

過剰適応



自分のやりたいことや都合を過剰に我慢して、
周囲に合わせることを無理にがんばり過ぎること

自分のできる事を知り、出来ないことは第三者に頼める



本当の自立とは？

自律スキル

自分でできることとできないことを判断できる

ソーシャルスキル

できないことについて他の人に援助を求める

一番大切なことは自己決定できる情報を提供しているか

年代別
発達障害の
支援

本人の自己決定力と相談力を育てる



- 自由な選択と決定の保障
- 親は、可能であれば情報を得る相手に
- 教師は、可能であれば助言者に
- 親や教師以外の相談相手が時に必要

・・・進路選択の時期にこの体制が必要！

ADHDの人が過剰適応で

年代別
発達障害の
支援

やればできる！



周囲の視点

・・・だから普段からちゃんとやってほしい

ではなく

本人の視点

・・・だから普段はやらなくてもいい

してほしいことを決めるのではなく、しなくて良いことを決める

「しなくていいこと」を決める

ASDの場合

- あいさつ, 雑談
- 気配り, 付度
- 周りに合わせること

ADHDの場合

- 時間厳守
- 日々の積み重ね
- 良い姿勢



発達の最近接領域（ヴィゴツキー,L.S.）

自力では到達できないが、

他者の援助があれば問題解決が可能な水準



感覚過敏(Hyper Sensitive Child)

「我慢が足りない」わけじゃない！
発達障害 × 感覚過敏・感覚鈍麻

聴覚

「教室のざわつきで
苦しくなる」

「刺激がほしくて耳
を叩きたくなる」

視覚

「白地の紙にプリント
された字が読めない」

「蛍光灯の光がまぶし
くて吐き気がする」

嗅覚

「石鹸、香水などの匂
いで気持ち悪くなる」

「自分の体臭への
違和感を覚えづらい」

味覚

「特定の食材が絶対に
食べられない」

「変化が苦手で決まっ
たものだけ食べたい」

触覚

「暑さ寒さの感じ方がちがう」

「手をつなぐのが苦痛」

「刺激がほしくて体を
叩きたくなる」

前庭覚

身体の傾きやスピード、回転を感じる感覚

「乗り物酔いをしやすい」

「姿勢保持が苦手」

「ぐるぐる回らないと
落ち着かない」

固有覚

身体的位置や動き、力加減を感じる感覚

「力加減が難しい」

「よくものを落としたり
こぼしたりする」



©TEENS

発達障害の方の中には、同じ刺激でも敏感に感じたり、逆に感じにくいなどの、**感覚処理が特異的な方がいます。**

この特性を活かして「調香師」や「パリスト」など専門性のあるお仕事に就く方もいますね。感覚の特異性から困ったときには、原因を
とりのぞく・はなれる・さけるなどの対処をしたり、感覚統合のアプローチをしていくことが有効です。

「普通の感じ方とちがうから」と言って相手の感覚を否定するのではなく、どんな風に世界を感じているのを知り、どんな工夫をすれば
過ごしやすいのか一緒に考えられる世の中にしていきたいですね。

急性内斜視

スマホ

使いすぎで
若者が“斜視”に?!

© 斜視治療のストラテジー
佐藤美保 三輪書店



左眼内斜視

“斜視”



NHK

【現場から、】 発達障害児に “集中しやすい環境”を「ふみおくん」



発達性協調運動障害(DCD) の理解と支援

DVDサンプル映像

「発達性協調運動障害(DCD)の理解と支援 全2巻」 SAMPLE



“多様な学び”で力を発揮！ 学習障害の子ども達



【竹田契一】読み書きが苦手な子どもの 基礎理解と具体的対応(一部抜粋)



ChatGPT

(生成AI)

共通テストをChatGPTに解かせてみた結果



科目	受験者平均	GPT4	GPT3.5
国語	55%	53%	17%
英語 (読解)	61%	90%	76%
倫理、政治・経済	69%	80%	18%

note.com

ChatGPTに共通テスト（旧センター試験）を解かせてみた | usutaku

先月、小学5年生が提出したハリーポッターシリーズの読書感想文の一節。

作一 起一 標識

感想文の提出を受けた担任の先生は、こう振り返る。

学校の担任

「構成がしっかりしていて、書き方も大人が使うような表現だったので驚きました。たぶん書いたのは本人ではないと感じ、尋ねたら、ChatGPTに書いてもらったと言うことでした。ですが、書き方を写すだけでも学びにはなりますし、新しいものを意欲的に取り込んだという姿勢は評価しています」

ChatGPTの利用は、いま日本でも急速に広がり、私たちの生活を変え始めている。

字は年相応だが、使われている表現は「感銘を受けた」「涙した」など、小学生が書いたとは思えないほど巧みだ。

ChatGPTが家庭教師の役割を果たす

ChatGPTなどの生成系AIは、子供たちの学習で家庭教師の役割を果たすことができる。例えば、小学生が「 $78 \div 8$ はいくらで、余りはいくらか？」という問題にどのように取り組めばよいのか、という疑問に直面したとしよう。

大人であればこの問題を解くことはできるが、小学生に対してなぜその解法が正しいのかを説明するのは戸惑うだろう。しかし、これをChatGPTに問うと、非常に丁寧な答えが返ってくる（実際に試していただければ、すぐにわかる）。

教育関連のオンライン雑誌Intelligent.comが6月8日に公表した調査結果は衝撃的だ（アメリカ人801人に対するLINE上での5月の調査結果）。

それによれば、高校および大学生の85%、学齢期の子を持つ親の96%が、「人間の家庭教師よりChatGPTのほうが優れている」と回答した。すでに完全にChatGPTに切り替えた高校生・大学生は、回答者の39%だ。親は30%に上る。切り替えによって成績が向上したと回答した割合は95%だった。

メニュー

ICT教育



探究!!生成AIの世界

特別支援教育



授業サポート資料集



埼玉教育



生成AIについて学ぶコンテンツ

全ての動画

新着順

10件



1.生成AIとは

管理者

▶ 61 4

生成AIにできること

▶ 44 3

2.生成AIでできること

管理者

▶ 44 3

生成AIを利用する際の留意点

▶ 36 4

3.生成AI利用の留意点

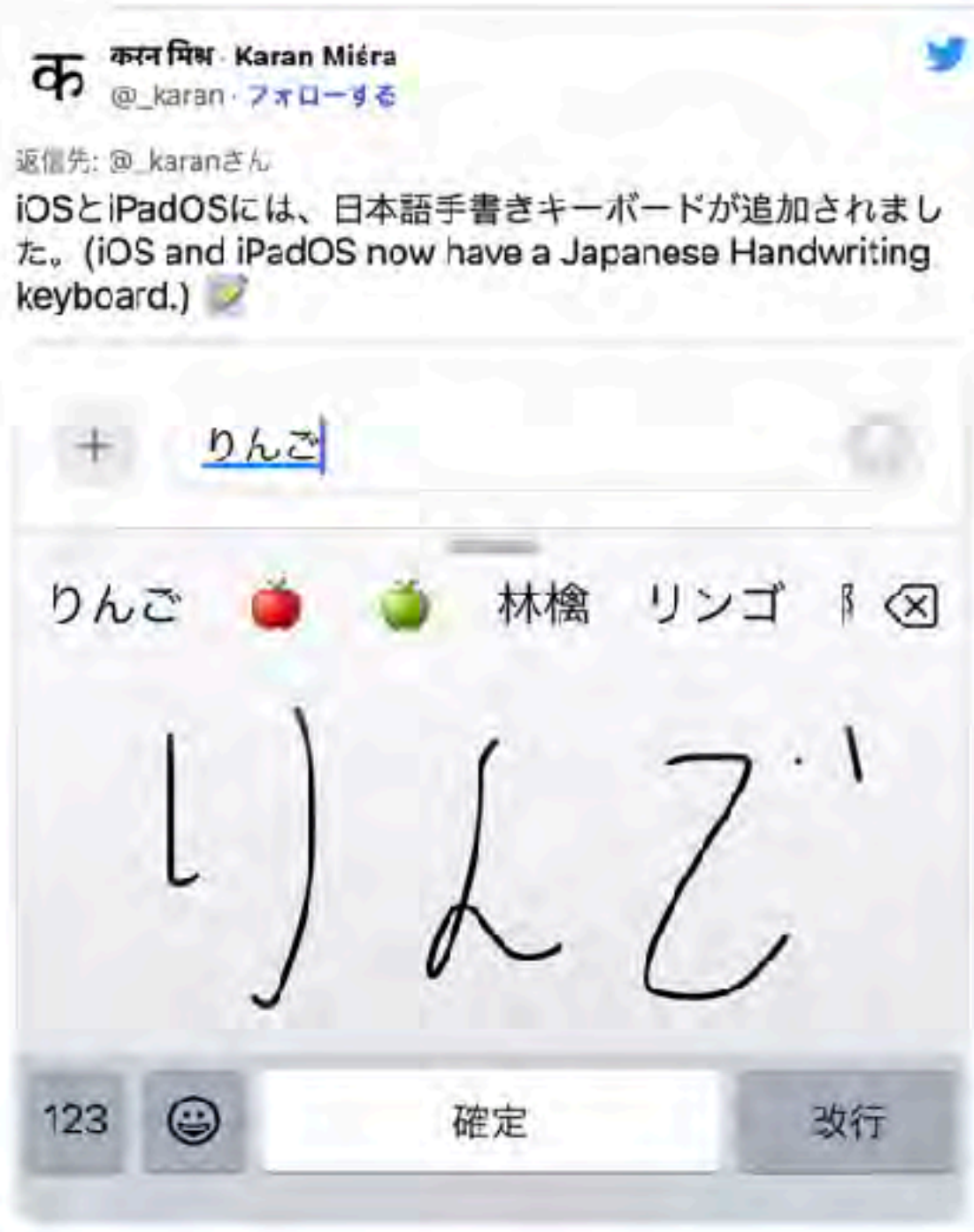
管理者

▶ 36 4

Tips

iOS/iPadOS 17では日本語の手書きキーボードが追加され、縦書きのテキスト認識表示もサポート。

AppleのKaran Miśraさんによると、iOS/iPadOS 17では、この他にも日本語キーボードに手書きキーボードが追加され、中国と日本語の縦書きテキストもテキスト認識できるようになるそうです。



通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要と 児童生徒に関する調査結果について

<小学校・中学校>¹

	推定値（95%信頼区間）
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8%（ 8.4% ～ 9.3% ）
学習面で著しい困難を示す	6.5%（ 6.1% ～ 6.9% ）
行動面で著しい困難を示す	4.7%（ 4.4% ～ 5.0% ）
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3%（ 2.1% ～ 2.6% ）

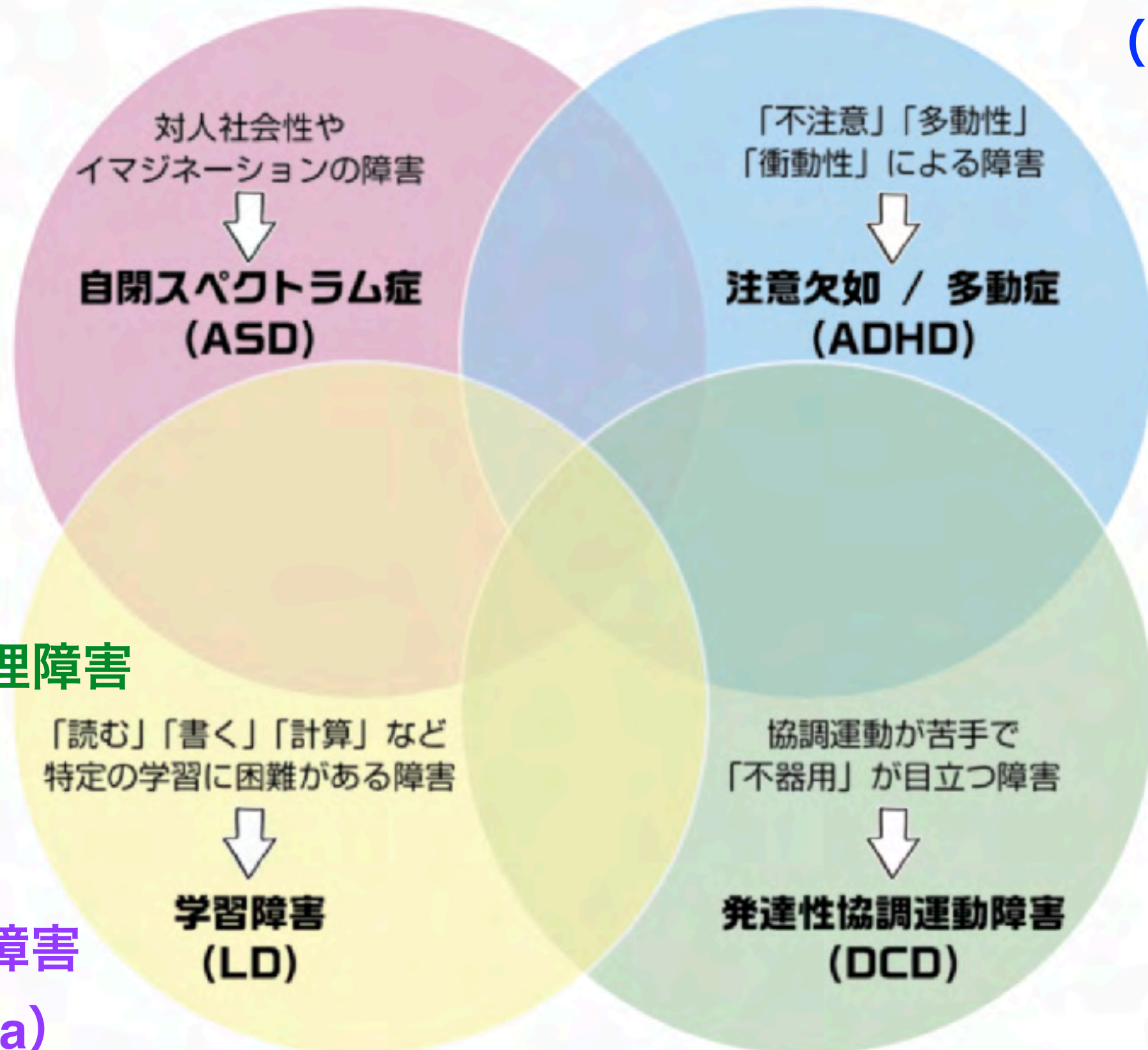
<高等学校>

	推定値（95%信頼区間）
学習面又は行動面で著しい困難を示す	2.2%（ 1.7% ～ 2.8% ）
学習面で著しい困難を示す	1.3%（ 0.9% ～ 1.7% ）
行動面で著しい困難を示す	1.4%（ 1.0% ～ 1.9% ）
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	0.5%（ 0.3% ～ 0.7% ）

※「学習面で著しい困難を示す」とは、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」の一つあるいは複数で著しい困難を示す場合を指し、一方、「行動面で著しい困難を示す」とは、「不注意」「多動性－衝動性」、あるいは「対人関係やこだわり等」について一つか複数で問題を著しく示す場合を指す。

敏感・繊細
(HSC)

反抗挑戦性障害
(ODD)



対人社会性や
イマジネーションの障害
↓
**自閉スペクトラム症
(ASD)**

「不注意」「多動性」
「衝動性」による障害
↓
**注意欠如 / 多動症
(ADHD)**

「読む」「書く」「計算」など
特定の学習に困難がある障害
↓
**学習障害
(LD)**

協調運動が苦手で
「不器用」が目立つ障害
↓
**発達性協調運動障害
(DCD)**

聴覚情報処理障害
(APD)

読み書き障害
(dyslexia)

ゲームをプレイすることが脳活動や意志決定能力を強化するという研究結果



ジョージア州立大学の研究チームが、ゲームを頻繁にプレイするプレイヤーはそうでない人と比べて、脳の主要な領域で優れた意思決定能力を持ち、脳の重要な部位の活動も活発であることを明らかにしました。

タスク実施中の被験者の脳をfMRIで分析したところ、ゲーマーの脳の特定部位の活動が非ゲーマーのそれよりも活発になっていることが明らかになっています。つまり、脳の特定部位がタスクの結果と相関していることが明らかになったわけです。

一緒にやってみなければ分からない

やれば分かる止め時

子供が優位に立てる

親子の会話が増える

親の言うことも聞けるようになる

【～6歳】 子どもの「考える力」を伸ばす「読み聞かせ」のコツ

- 子ども専用の本棚を与え、自分で絵本を選ばせる
この経験をたくさんさせることで、言葉の力はもちろん、記憶力、イメージ力、理解力なども高度に発達させることができます。
- 読み聞かせは「眠たくなる時」がベストタイミング
子どもの情緒が落ち着いている時、情緒のリズムがスローダウンしてきた時、夜寝る前やお昼寝の前などを見計らって読み聞かせをするとうまくいきます。
- 3歳からは「質問」をしながら読み聞かせる
親が「問い」を重ねると、子どもは深く考える習慣を身につけることができます。
質問のポイントはしつこく聞かないこと。「おもしろかった？」「どこがおもしろかった？」「誰が好きだった？」と一方的に聞かれると、子どもは答える気を失います。
読み聞かせによって育まれた言語操作能力は、子どもが小学校に上がり、教科学習をスタートする時に大きな力となって学習活動を支えてくれます。

10歳の壁

“10歳までに” すべき4つのこと。

なぜ「遊べていない人間」はダメなのか？

■脳の発達における「10歳」とは

まずは脳科学の面から、10歳までの子どもの脳の成長について解説していきます。発達脳科学・MRI脳画像診断の専門家である加藤俊徳氏は、子どもの脳の成長には段階があり、その年齢に適した脳の発達を促すことが大切であると述べています。

具体的には、3～7歳くらいまでは体を動かすことを重視し、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）で脳に情報を取り入れることを意識するといいそう。目的は、右脳の成長を促すことです。「感性脳」と呼ばれる右脳の発達は、相手の気持ちを汲み取るなど、上手なコミュニケーションに欠かせません。

続いては、7歳以降。小学校に入ると教科書を使ってたくさん勉強するようになり、言葉の情報を理解する能力が鍛えられます。これにより「論理脳」と呼ばれる左脳が著しく成長し、自分自身を理解するのに役立ちます。

加藤氏によると、「10歳以降にぐんと伸びるのは、体験を言葉にしたり、文字情報を読んで深い理解につなげたりする能力。だからこそ、それまでに言葉以外の体験を十分にしておく必要がある」とのこと。満点の星空を見上げる、炎天下でかき氷を食べる、虫の声に耳を傾けるなど、五感を通したさまざまな体験をさせてあげましょう。

■心の発達における「10歳」とは

よく「**10歳の壁**」という言葉を目にしますが、発達心理学の観点からも、10歳は精神的な不安定さが顕著に現れる難しい時期だと言われています。

「子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題」（文部科学省）によると、10歳前後の子どもには「自分のことを客観的にとらえられるようになる反面、自己に対する肯定的な意識をもてず、劣等感をもちやすくなる」という特徴が見られるようになるそう。このような内面の変化は、親にとっても子ども本人にとっても深い悩みにつながる可能性があります。決して悪いことばかりではありません。

「10歳は子どもにとって大きな飛躍の年」と話すのは、発達心理学・学校心理学の専門家である渡辺弥生氏。この時期の子どもは大人に向かって急激に成長します。悩みの内容も大人と同じように複雑化するでしょう。それこそ、自分を客観視できるようになった証であり、将来をしっかりとイメージして考えられるほど成長した、ということなのです。

■学力面における「10歳」とは

最後に、10歳を境にした変化について、教育における観点から解説します。花まる学習会代表の高濱正伸氏は、「**子どもはおおむね10歳（小学4年生）くらいを境に、大きく変わります。親は小学校低学年と高学年では“生態がまったく違う”ことを認識すべきです**」と述べています。

学力面において「10歳」は分岐点になります。高濱氏は、「**8、9歳くらいまでに“頭のよさ”の核心部分が育つ**」と言い、「**低学年で基礎力を完成させ、高学年以降にさらに発達させる、というプロセスが一般的なので、10歳までに基礎力が身についていないと、それ以降の“あと伸び”が難しくなる**」と指摘しています。

このように、子どもにとって非常に重要な時期として「10歳」が挙げられるのには、それなりの理由があるのです。長い人生のなかでたった10年でも、その時期の経験や生活の基礎が人生の土台となることを考えると、「10歳までに」してあげたいこと・させてあげたいことが見えてくるはずです。

■10歳までに「生活習慣を整える」

12年間、5万人以上の「勉強ができる子」の学習パターンを調査してきた朝日大学マーケティング研究所所長の中畑千弘氏は、「勉強ができる、できない子の差は10歳までの生活習慣にある」と断言します。中畑氏によると、いわゆる「勉強ができる子」は、「10歳までに机に向かって5分でも10分でも何かをするという習慣」が身についていることが多いそう。

また、勉強に限らず、同じ時間に起きる、同じ時間に食事をする、同じ時間に寝る、など規則正しい生活習慣が身についていることも重要です。文部科学省による「全国学力・学習状況調査」（平成28年）では、朝食を毎日食べている子どものほうが、学力調査の平均正答率や体力合計点が高い傾向にあるという結果が出ました。朝起きて食欲が出ないなら、具だくさんのスープやフルーツなどを少量でも食べる習慣をつけましょう。

また、教育ジャーナリストの清水克彦氏は「正しい生活習慣に加えて、お手伝いや整理整頓の習慣も身につけるべき」と述べています。なぜなら、お手伝いや整理整頓が習慣づいている子どもほど、頭のなかの考えを整理しやすく、上手に感情のコントロールができたり、自分から率先して行動できたりと、学力では測れない能力が身につくからです。10歳までによい習慣を身につけさせたいですね。

■10歳までに「考える経験をさせる」

「思春期になんらかの問題を起こすかどうかは10歳頃までの親子関係で決まる」と話すのは、青山渋谷メディカルクリニック名誉院長の鍋田泰孝氏です。10歳までの学童期は、子どもが精神的に安定していてまだ頭がやわらかい時期。それゆえ外界から多くのことを取り込みやすく、「**基本的な性格が出来上がる時期**」でもあるのです。

基本的な性格が出来上がるというのは、**対人関係のスキルや物事のとらえ方、主体性といった「基本的なライフスタイル」が出来上がる**ことでもあります。この時期に自分で考える経験をせず、すべて親に決めてもらっていたら、思春期にぶつかる壁を乗り越えるのは困難になるでしょう。

わが子が心配なあまり、つい過干渉になってしまう人も多いかもしれませんが、その弊害についてはよく知られるところ。そうならないように、「**子どもをひとりの人間として尊重することが大切**」と話すのは公認心理師の佐藤めぐみ氏です。親が意識すべきは「質問をする」「相談をする」「意見を聞く」の3つ。子どもの決断や判断の機会を奪わないよう、まずは子どもに「どうしたい?」「○○くんはどう思った?」と聞いてみてください。子ども自身が考え、自分の気持ちを正直に言えるようになるといいですね。

■10歳までに「言語能力を伸ばす」

開成中学校・高等学校校長を経て現在は北鎌倉女子学園学園長を務める柳沢幸雄氏は、
「人間としての基本形が出来上がる10歳までに、幅広い経験をさせる必要がある」と話します。ただしそれは、習い事をたくさんさせるという意味ではありません。この時期に培いたいのは、学力や特定のスポーツの能力ではなく、「総合的な生活力」いわゆる「生きる力」です。

なかでも「言語能力」を伸ばしてあげることが意識するといいそう。というのも、人から何かを教わるときにも、自分で物事を考えるときにも、人間は言語を使うから。つまり、「言語能力こそが学びの基礎」なのです。

子どもの言語能力を伸ばすには、「子どもの話をきちんと聞くこと」が基本です。成長過程にある子どもはボキャブラリーが少なく、話を組み立てることがまだ苦手。柳沢氏は、「話すのに時間がかかっても、親は辛抱強く待って、子どもに考える時間を与えてほしい」と述べています。「子どもがしゃべる時間が2、親がしゃべる時間を1」と意識しましょう。

■10歳までに「思いきり遊ばせる」

「10歳くらいまでに思いきり遊べていない人間は、将来的に伸びない」と断言するのは、教育改革実践家の藤原和博氏。これからの時代に求められるのは、正確な答えをすばやく導き出す能力ではなく、「正解がない問題に対して多くの仮説を立てられる力」だと藤原氏は説きます。

その力は、遊びのなかで育まれるのだそう。遊びには決まった正解がなく、想定外のことも起こります。だからこそ、その場の状況をふまえ仮説を立てて乗り越えたり、みんなが楽しめるよう臨機応変にルールを変更したりする柔軟性が求められるのです。

実践教育ジャーナリストの矢萩邦彦氏も同様に、「小学2年生まではできるだけ外遊びをして、ものを観察したりつくったりする時間を確保する必要がある」と述べています。習い事に追われて遊ぶ時間がない子どもも多く見られますが、できるだけしっかりと外遊びをさせることが、その先の学びの基礎づくりになるのです。

どこか特別な場所や整備された遊び場へ連れて行かなくても、近所の公園でいつもとは違う遊びを取り入れたり、散歩コースを変えてみたりと、日常のなかで工夫して変化を楽しむことはできますよ。

10歳までに高めたい「自己肯定感」と「非認知能力」

最後に、STUDY HACKER こどもまなび☆ラボ（編集）× おおたとしまさ氏（監修）の書籍、「10歳までに一生ものの土台ができる」『究極の子育て』をご紹介します。

本書は、「変化の激しい現代社会において、必要とされる知識やスキルを不足なく身につけるためにどうすべきか」を問う一冊。そのカギとなるのは、「自己肯定感」と「非認知能力」です。自己肯定感は、無条件に自分にOKを出せる感覚。非認知能力は、テストの点数では表せない幅広い力。どちらもこれからの時代に求められる力です。

「これだけは大切なこと」をぎゅっと絞ってまとめています。「育児や教育に悩んでいる」「子どもの未来への漠然とした不安を抱えている」といった保護者にこそ、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

早生まれの子は「発達障害」と診断される確率が高い？「発達障害もどき」と呼ばれる子どもたちとは【小児科医監修】

2006年の時点では、発達障害の児童数は約7000人でしたが、2019年には7万人を、2020年には9万人を超えました。数字だけ見ると13年（2006～2019年の間）で10倍に増えているのです。

発達障害の疑いを抱かれる子は、早生まれに圧倒的に多いと感じています。私が実際に診ている患者さんにも1～3月生まれのお子さんがたくさんいます。

4月生まれと3月生まれでは約1年も成長の度合いが違い、体格も落ち着きも全然違いますから、どうしても早生まれの子の問題行動は目立ってしまいます。

特にADHDの診断に導かれやすい子は、生まれ月の遅い子に多いようです。

「特異な才能ある子＝ギフテッド」の政府支援で、“勘違い親”増加の懸念

「いまの段階では、小学校入学前に英語の読み書きや計算ができるような子がギフテッドといわれがちです。しかし、これでは、単に他の子よりも早く塾に行った子だけが、その時点で『自分は天才だ』と勘違いしてしまうだけで、実質的な経済格差が反映されたにすぎないケースもままあります。にもかかわらず、こうした子供たちの親の多くは、『自分の子はギフテッドだから、もっと進んだ教育を……』とさらに塾に投資していく。その結果、小学校に入学後、子ども自身が『学校の授業がつまらない』と学習への意欲をなくしてしまう。そして、小学校5年生くらいになると、ほかの子となんら変わらない成績になることも珍しくありません」

なかには、親から過度な期待をかけられたものの十分な成績を残せず、途中で精神面に支障をきたしてしまうケースもあるという。『親の思うようには伸びなかった』と罪悪感を覚えたり、『親の言うとおりに生きていたのに天才になれなかった！僕の人生をどうしてくれるのか！』などといった思考になる子どもも少なくないそうだ。

「やる気がない子」の親がしてしまってる3大NG言動

「やりなさい」は逆効果

- ① 「やるっていったよね」「やりなさい」

義務感を感じていることは続かない

- ② 静観ではなく、背中を押す言葉をかける

こどもを勇気づけて、行動を後押しする

- ③ 「フォローアップをしない」のはNG

学びは苦行ではないはず！？



番組小学校

寺子屋

Society 2.0のまま？！



学びを止めない！！



リモート授業

メタバース

Society 5.0 ? !



よく使う言葉でわかっていない言葉

- ちゃんとしなさい
- きちんとしなさい
- 笑われるでしょ
- しっかりしなさい
- 恥ずかしいでしょ

日本で「いじめ」がなくならない「本当の理由」… 子どもから自由を奪う「学校」という病 特別支援教育よりも生徒指導

「学校」という病

日本の学校は、あらゆる生活(人が生きることすべて)を囲いこんで学校のものにしようとする。学校は水も漏らさぬ細かさで集団生活を押しつけて、人間という素材から「生徒らしい生徒」をつくりだそうとする。

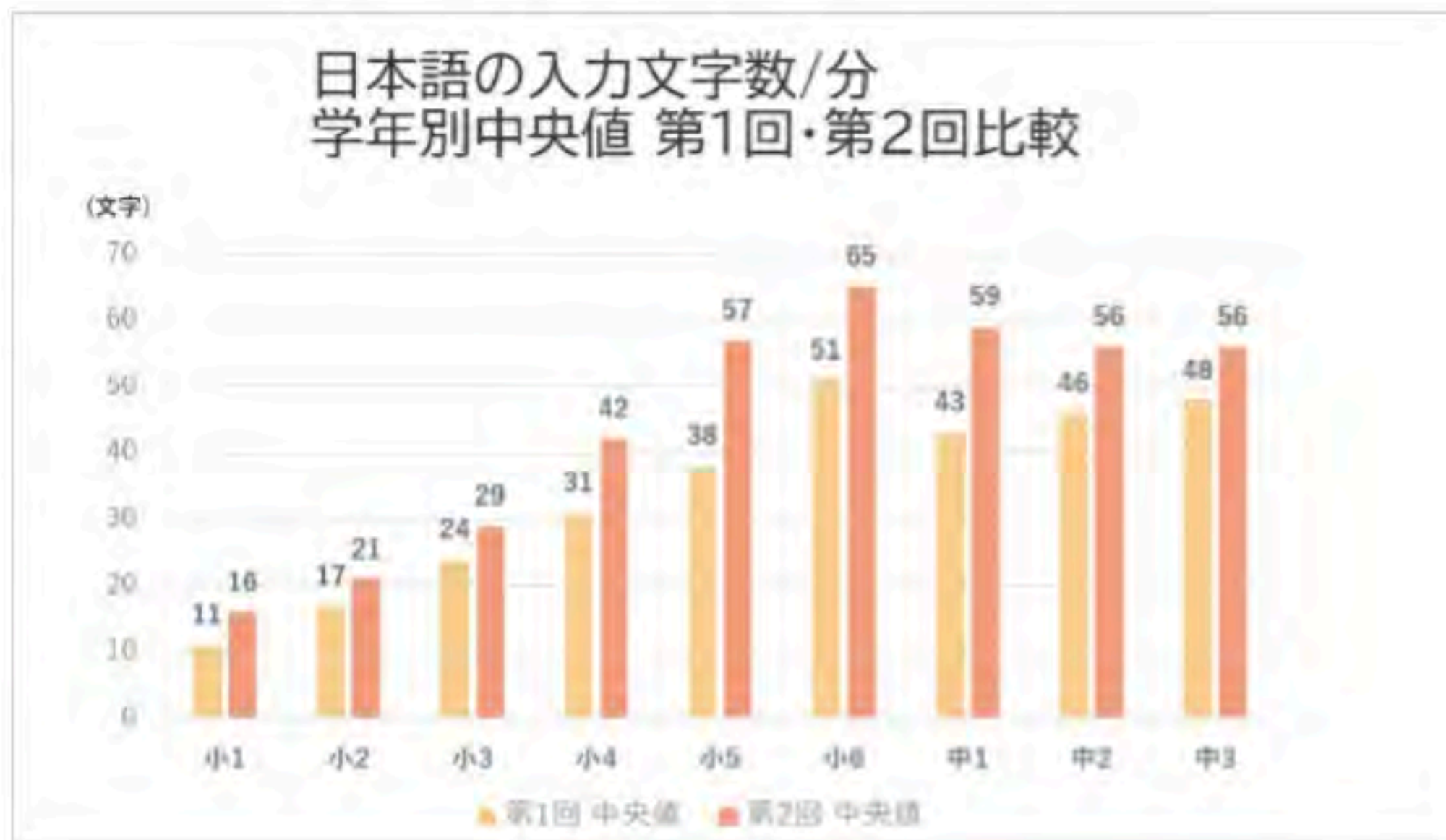
これは、常軌を逸したといってもよいほど、しつこい。生徒が「生徒らしく」なければ、「学校らしい」学校がこわれてしまうからだ。

学校では自由が許されない

学校を、外の広い社会と比較して考えてみると、数え切れないほどの「おかしい」、「よく考えてみたらひどいことではないか？」という箇所が見えてくる。

市民の社会では自由なことが、学校では許されないことが多い。れない

ミラボ、小中生対象「全国統一タイピングスキル調査」 の第1弾レポートを公開



ワープロ検定1級

約70文字（700文字以上／10分）

女子高生のフリック入力

約200文字

NHKアナウンサー話文字数

約300文字

普通学級を抜いた！「発達障害」の子の成績をアップさせた
「とっておきの秘策」

「UNOとか、ゲームをやってていいです」

担当した8人の場合、子どもたちが座って授業を受け、勉強していただけるのは「25分間」でした。25分以上つづけると、学習の量に圧倒され、不安になってキレてしまうのです。だから私は割り切りました。

「25分だけ授業をして、あとは自由時間にする」

そう決めて実行したんです。もちろん、25分間は授業と学習をキッチリやりますが、それが終わったら、

「よし終わり！ 君たち偉いねっ！」

と子どもたちをバッチリほめたうえで、

「UNOとか、ゲームをやってていいです」

子どもたちは授業時間の後半20分、好きなことをしていましたが、それで気分が変わるので、リフレッシュして、それぞれの子が属している元のクラス（「交流級」とか「原級」と呼ばれます）に戻っていかけていたようでした。

勉強時間が短くても、学力はつけてあげられる

25分では、口々に勉強できないだろ……なんて、侮ってはいけません。時間こそ短かったですが、はっきり言って、学習内容の進み具合は、交流級・原級より早かったです。しかもテストの成績も、原級の成績下位の子たちよりよかったし、全体の平均点を比較すると、特別支援学級の子たちのほうが高かったほどでした。

特別支援学級のほうが子どもの人数が少ないわけですから、児童一人あたりに先生が割けるエネルギーは大きくなるし、個別対応もしやすくなりますよね。

ちなみに、25分勉強できるというのは長いほうで、5分、あるいは10分しかもたない、という子もよくいました。そういう子の場合は、貴重な5分・10分の勉強時間をできるだけ充実させて、積み上げていくしかありません。「長い時間こなす」より、「学習内容が頭に入っていればOK!」と考えて、そこに工夫を凝らしたほうがいいんです。

勉強以前に大事なものを、忘れてはいけない

テクニック以上に大事なものがあつたことを、最後にお伝えしておきたいと申します。それは「信頼関係」です。

発達障害がある子、とくに低学年くらいの児童には、「大人に圧倒的に受け入れられた経験」や、「大人の言うとおりにしたら楽しかった／嬉しかったという強烈な経験」が、何よりも必要です。

そういう経験から生まれる「大人との信頼関係」がない子に、「授業だよ。勉強しようね」と呼びかけても、そのメッセージが届くことは絶対にありません。

〈特別支援教室では勉強させない。ただひたすら、先生と遊ぶ〉

こう決めて何をしたかというところ、Aくんにはその後、彼が好きな「お絵描き」だけを教室でしてもらったんです。大好きな活動ですから、Aくんは一心に取り組めます。実に150日間、スケッチブックを何冊も使って、ひたすら好きな絵を描き続けました。私はその活動を一切とめません。否定もしません。

ただ、Aくんが絵を見せに来たり、とくにいい絵ができたときはほめちぎりました。そうやって、「先生といつと安心」「先生と一緒にやると楽しい」という体験をひたすら積み上げていったのです。

「安全性のスイッチ」を押すところから始めよう

すると、Aくんに変化が訪れました。1年生の3月がすぎ、2年生になってから、Aくんは勉強に取り組み始めたのです。彼の学力は一気に伸びました。私は彼が3年生になるまで面倒を見ましたが、3年生のときには、特別支援学級で3年生の勉強ができるまでになったのです。

幼いころに子どもらしさを十分に発揮できないまま（私なりの言い方をすると、子どもらしさを「使いきれないまま」）就学してしまうと、子どもは学校にも、授業にも、学習内容にも、うまく適応できません。大人への信頼感が育っていないので、不安で不安で、それがAくんのような問題行動としてあふれ出てしまうのです。

そんな子には勉強以前に、まず「安全性のスイッチ」を誰かがちゃんと押してあげなければいけません。きちんとした技術があれば、学校の教師にはそれができるのです。「子どもとの信頼関係」それこそが何よりも大事であることを、現場の先生方には忘れないでいてほしいと思います。

「突出して自己肯定感が低い」 日本の子ども よかれと思ってかけた言葉が「呪い」に

たとえば『何度言ったらわかるの』という言葉を使ってしまう人はいると思います。この言葉を使う時、親がこうあるべきだと感じていることを押し付けるケースが非常に多いです。

でも、子どもにとってみれば、それが本当にいいのかなんてわからないわけです。『どうしてそんなこと言われなきゃいけないのかな』と考えているのに、何度言ったらわかるのよって言われてしまう。そうすると、自分が認められてる、とか、理解されてるという感覚は持てないですね。

自己肯定感とは、自分らしく生きていいんだな、自分はこうやって行動していいんだなって思えることがすごく大事なことです。親が絶対的な司令官で、その司令官のいうことに絶対服従しなくてはならないという価値観では高めることはできません。『何度言ったらわかるの』だけでなく、親の考えを押し付けるような声かけは注意が必要です」

「子どもを叱るときは、その子の短所を叱るものです。その子を伸ばしたいんだったら、同じことを長所として褒めてみてください。」

長所と短所は違うものではありません。その子らしさを、ネガティブにみれば短所になるし、ポジティブにみれば長所になるんです。

——自己肯定感を高めるとは、その子らしさを認めて、声をかけてあげる、ということなんでね…。謙遜の文化の影響もあるのかもしれませんが、思っ**て**はいても、口にするのが苦手な人も多いかもしれませんね…。

「ぜひ、意識して声に出すようにしてください。それは、子どもに対する大人の気持ちについてもそうです。」

『そのままのあなたが大切』だとか『あなたが元気でいてくれるだけで嬉しい』ですとか、ちゃんと言葉にして子どもに伝えることがすごく大事です。本当に短い言葉、5秒もかからない言葉です。でもそれが、子どもにとっては、すごく重要なことなんです」

【精神科医が教える】すぐに自己肯定感が高まるたった1つの考え方

● 「自分軸」と「他人軸」の違い

他人がどう思うかを優先するのではなく、自分がどうしたいかを基準にして「自分軸」で行動することは、とても大切です。

他人の評価を気にして、自分がどうしたいかを蔑ろに「他人軸」で行動することは、[自己肯定感](#)を下げることにもつながります。

どんな結果になるにせよ、「他人に言われたから」「他人に嫌われたくないから」「他人に評価されたいから」という気持ちより、自分の考えや自分の納得感を優先して物事を判断することが大事なんですね。

● 「自分軸」と「ワガママ」の違い

そうしないと、自分の心は他人次第で振り回されることになり、あまり幸せな気分になれません。

ひとつ踏まえておきたいのは、自分軸とワガママは、まったく別物だということ。むしろ正反対ともいえます。

自分軸は、自分が納得して生きるということ。ワガママは、他人が自分軸で生きようとすることを自分の都合で妨害することなんです。

● 他人の自分軸を尊重する

他人が納得しているかどうかはお構いなしに、自分の都合を相手に押しつけるのがワガママ。相手の自分軸を尊重していない行為なのです。

逆説的な言い方をすると、自分軸を尊重して生きていない人が、他人の自分軸を尊重できるわけがありません。

自分軸で生きるということは、自分の責任を自分で果たすとも言えますが、ワガママな人は、自分の責任を果たさないからワガママなのであって、両者は正反対の生き方なんですね

<https://news.yahoo.co.jp/articles/50e4ace2baa400aad554bd0189abe42136a33a90>

脳科学にもとづく「記憶力」を大幅に向上させる シンプルな方法4つ



<https://www.lifehacker.jp/article/2307-keep-forgetting-things-neuroscience-says-these-4-simple-routines-significantly-boost-recall-retention-long-term-memory/>

1. 覚えたいことを口に出して言う

私の友人は、学んでいることを声に出して繰り返します。

『Journal of Experimental Psychology』に掲載された研究によると、言葉を口に出して言う（あるいは口を動かすだけでも）、その言葉が弁別されるそうです。

頭の中に浮かんでいるほかのあらゆる単語と区別され、違うものになるのです。それによって、言葉が記憶に残りやすくなります。

2. 覚えたいことを覚えていられるか予測する

『Canadian Journal of Experimental Psychology』に掲載された**この研究**によると、「何かを覚えていられるかどうか」を自問自答するという単純な行為によって、実際に覚えている可能性が1.5倍になるそうです。

これは特に、自分がやりたいと思っていること、つまり心理学者が「展望的記憶」と呼ぶ、**行動・意図・約束などを思い出す場合**に当てはまります。

はっきりしているのは、この行為によって**海馬によるエピソード記憶の形成や索引付けが向上し、後でアクセスしやすくなる**ということです。

ですから、あることを覚えたい場合、少し時間をとって覚えていられるかどうかを予測してみましょう。そうするだけで、覚えている可能性が高くなります。

3. 覚えたいことを40秒かけて復習する

記憶の定着とは、一時的な記憶をもっと安定した長期的な記憶に変容させるプロセスのことです。

記憶の定着のプロセスを速めることはできますが、それでも長続きするように記憶を蓄積するのは時間がかかります。

その確率を高める方法の一つが、**覚えたいことを40秒間復習する**というものです。『Journal of Neuroscience』に掲載された研究によると、短時間の復習（ある出来事を頭の中で再生したり、会議で誰かが言ったことを確認したり、一連の手順を頭に思い浮かべたり）によって、復習した内容を覚えている可能性が格段に高くなるそうです。

4. 覚えたいことを一晩寝かせる

『Psychological Science』に掲載された研究によると、寝る前に勉強しそのあとで寝て翌朝簡単に復習をした人は、勉強時間が短くなっただけでなく長期的な記憶保持力が50%向上したそうです。

一晩寝かせると脳が学習した内容をファイルに保存できるだけでなく、その情報にアクセスしやすくなるのです。

翌朝に少し勉強することで学習時間を分割する場合には、これが特に当てはまります。

良質な睡眠と少しの分散学習を組み合わせれば、何であれ本当に覚えたいことを記憶に留めるための非常に強力な方法になるのです。

beyond GIGA

Global and Innovation Gateway forAll

(すべての児童・生徒に世界にグローバルで革新的な扉を)

当事者の声

京

都

新聞

日

2019年(令和元年)8月17日 土曜日

教育 6

教育

Education

読み書き障害(ディスレクシア)の当事者で、自身の半生をつづった著書「読めなくても、書けなくても、勉強したい」などで知られる鳥取県の大工、井上智さん(57)が8月上旬、京都市東山区の京都

女子大で教員向けに講演した。43歳で自分が読み書き障害と知るまでの苦悩と、支援を得ながら50代で大学で学んだ経緯を語り、周囲の理解の重要性を訴えた。(大河幹子)

読み書き障害 当事者の井上さん 教員に訴え

追い詰めず 学習支援を

「子どもに『これぐらいのことができれば将来困るよ』と絶対に言わないで。その言葉が子どもを追い詰める。実際はできなくてもなんとかなる。今は色んな支援ツールがあつて、将来はもっと柔軟な社会になります」



井上智氏

読み書き障害で苦悩し振り返る井上さん(京女子大)

読み書き障害、知的障害はないが読み書きに困難がある状態で、ディスレクシアとも呼ばれる。当様には言語理解や視覚的記憶の障害、注意力の問題などさまざまな要因がある。米佐佳穂のトム・ワルースはディスレクシアであることを公表している。

43歳を過ぎて自身は読めず書けず、障害と気付いた時の心情についても述べた。ディスレクシアの

追い詰める。実際はできなくてもなんとかなる。今は色んな支援ツールがあつて、将来はもっと柔軟な社会になります」

主催。市教委指導部顧問で大阪医科大学Dセンター顧問の竹田獎一さんが、井上さんから経験談を引き出す対談形式で進められた。京都女子大の学生も含め約330人が耳を傾けた。



⑤読むことが難しい子どもをサポートする国語の音声付き教科書
⑥標準的な文具がうまく使えない人向けの文具

が学校現場でこれらの活用が十分でない。児童生徒がタブレットを含めた支援ツールを日常的に利用して授業を行っているケースは一部にとまる。その背景について、市教委グッズの認知度不足と予算削減に加え、1人だけ違うものを使うことへの学校側の戸惑いがあると説明。障害である子どもも学年が上ると活用に抵抗を感じや



井上 賞子

共通の友達165人



投稿 基本データ 友達 写真 動画 チェックイン その他

基本データ

概要

所属と学歴

住んでいるところ

現職

安東市立立南小学校

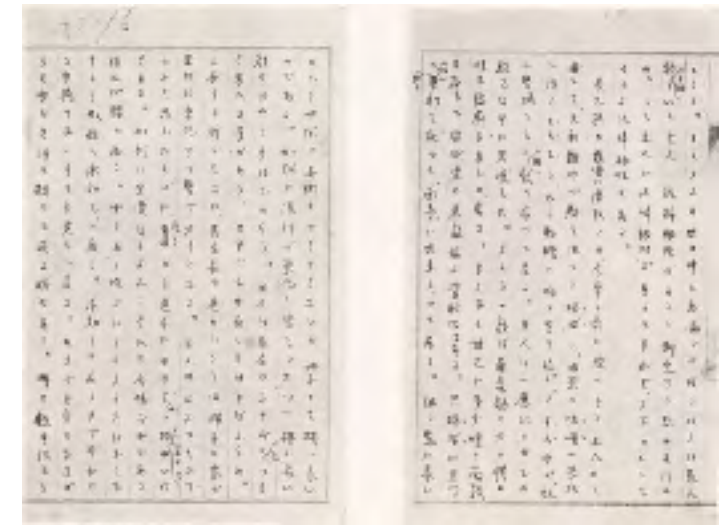
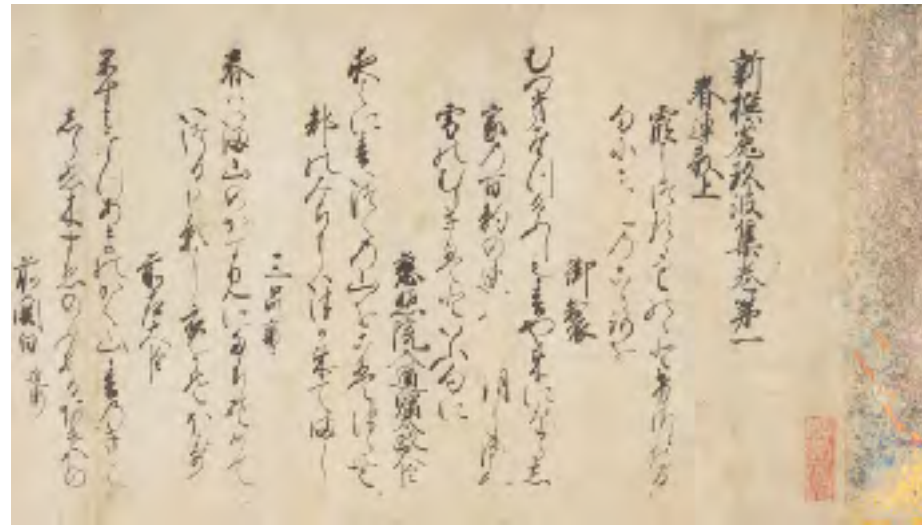
大学

出身校: 鳥根大学

文字の必要性

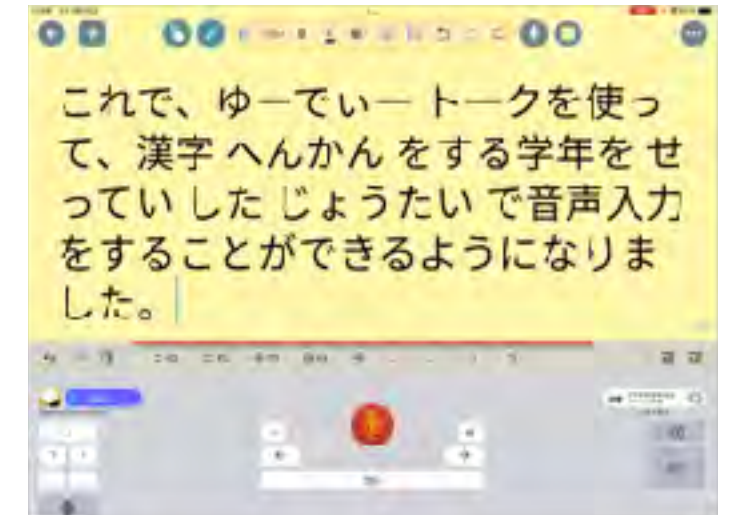
ICT機器の無い時代（紀元前～約2000年まで）

ユビキタス（時間と場所を超えて想いを伝える重要なツール）



Society5.0時代

マルチメディア（動画・画像・音声・・・）



これ何かわかりますか？

「生クリーム、水あめ、蜂蜜、バター、砂糖などを煮詰め、アーモンドスライスを加えて焼いたものだよ」



「なるほど、これがフロランタンか」

読み書きが出来なくても学習はできる

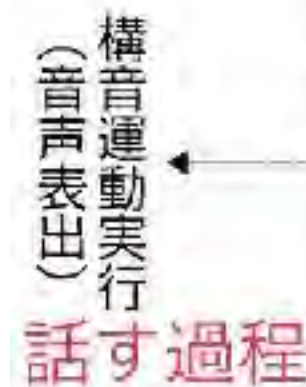
③



①

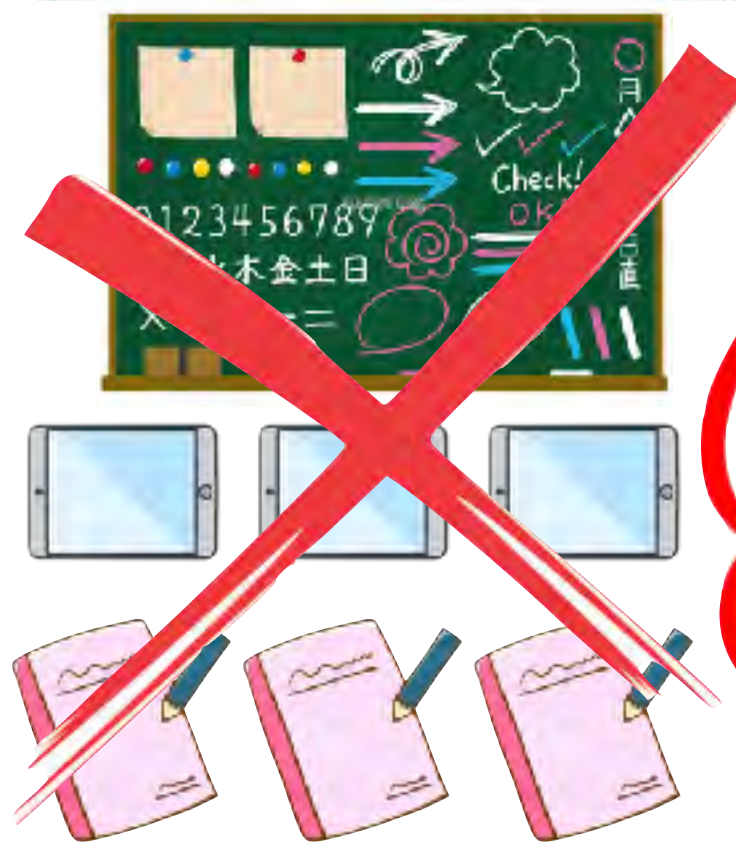


②



④





✗ ツールを平等

○ 学びを平等

⇐ After GIGA

ツール（手段）の選択肢を一つでも多く獲得

如何にして学習のスタートを揃えるか

児童・生徒の年齢に合わせて、さまざまな方法を組み合わせた支援を行っていく必要があります。

基本的に、年齢が小さい場合には、「できないことをできるようにする」というボトムアップの支援が中心

読み書きが困難、という状況に対して、その子どもが身につけやすい方法を探し、練習を積み重ねて、スムーズにできるようにする方法です。

その一方で、年齢が上がってくると、学校で学ぶ知識も多くなってくるので、困難を抱えながらも、なるべくハンディキャップを背負わずにすむよう、さまざまなツールを使いこなす練習も必要になってきます。

そのような補助代替ツールとしては、タブレットやスマートフォンでのメモ入力やカメラ機能、音声認識アプリ・録音機能、電卓などが、大人になっても活用しやすいものとして挙げられると思います。

ボトムアップの支援を続けながら、さまざまなツールの活用方法も学び、自分に合った方法を探す練習を行っていけると、児童・生徒が、自分にとって必要な支援を理解し、将来的には自分から他者の援助を得られるようにしていくための手助けができると思います。

壁の越え方

読むことの困難さ

書くことの困難さ

壁（困り）の超え方

子どもの負担

本人の努力

周囲の負担

よじ登る（訓練する）

合理的配慮

持ち上げてもらう（力を借りる）

回避する（代替手段）

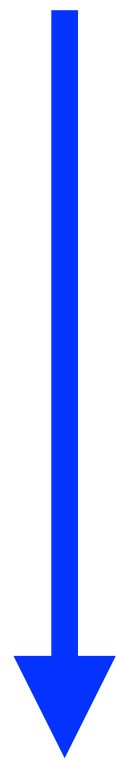
基礎的環境整備

壊す（ルールを変える）

社会変革・支援者の意識改革

超えずに済みます（価値観を変える）

高い



低い

低い



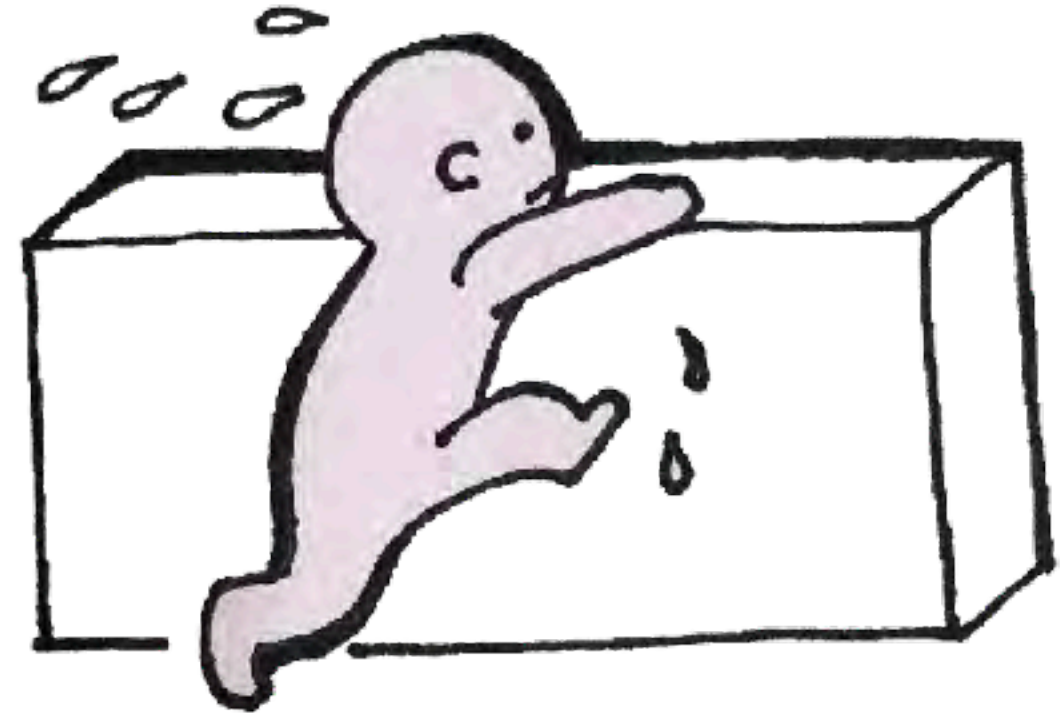
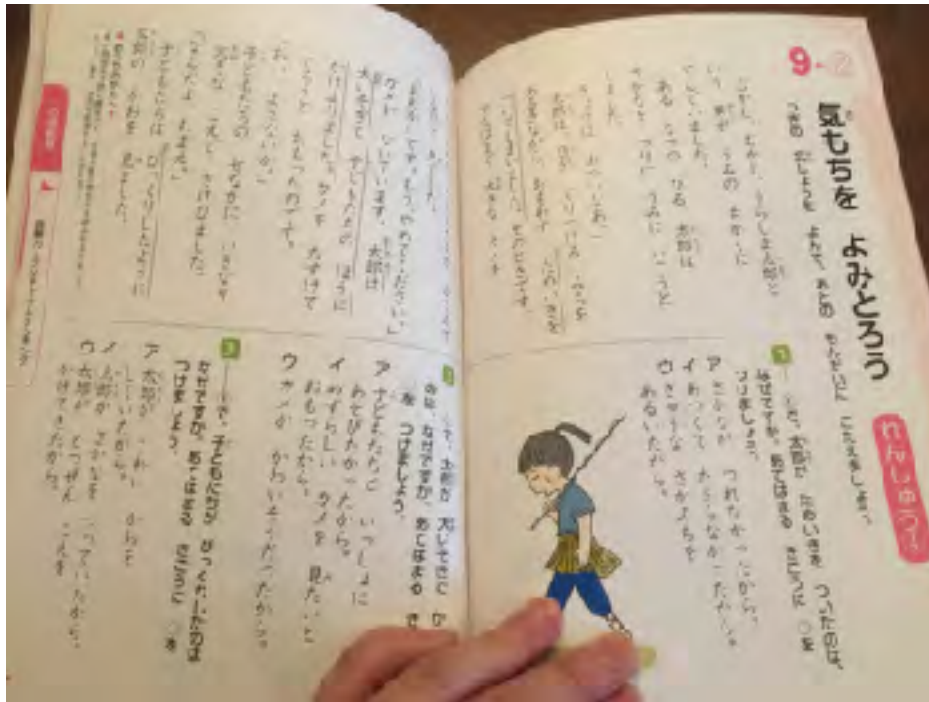
高い

Trade-off ⇒ Win-Winへのパラダイムシフト

医療モデル ⇒ 社会モデルへの意識の変更

よじ登る（訓練する）

とにかく自力で目の前の壁を超える（普通級・育成学級）



【竹田契一】読み書きが苦手な子どもの 基礎理解と具体的対応(一部抜粋)



持ち上げてもらう（力を借りる）

壁を低くして自力で超えやすくする（個別支援・育成学級・通級）



支援の必要な子どもの理解と支援グッズ 解説動画



<https://www.youtube.com/watch?v=BPwkCEa-Hnc>

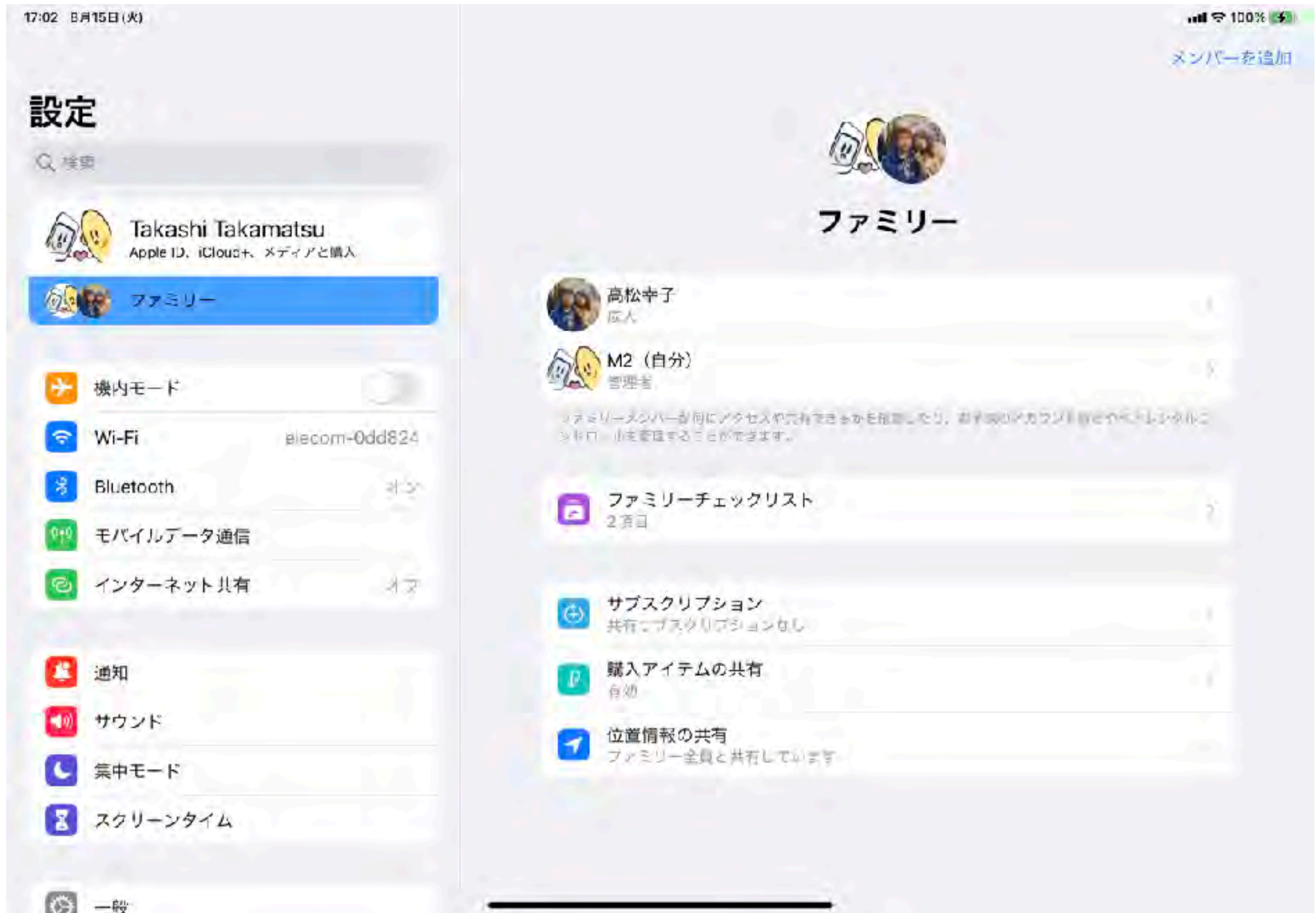
回避する（代替手段）

壁を迂回して自力で壁の向こうへ（ICTの活用）



標準機能の活用

ファミリー共有



スクリーンタイム



音声アシスタント



Hey Siri

Hint!

AI（人工知能）
アクセシビリティ
の側面

設定

Bluetooth オン

モバイルデータ通信

通知

サウンド

集中モード

スクリーンタイム

一般

コントロールセンター

画面表示と明るさ

ホーム画面と Dock

アクセシビリティ

壁紙

Siri と 検索

Apple Pencil

Touch ID とパスコード

バッテリー

Siri と 検索

Siri に 関 心

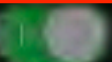
“Hey Siri”を聞き取る



ホームボタンを押して Siri を使用



ロック中に Siri を許可



言語

日本語

Siri の声

日本 (声 2)

Siri の応答

音声で知らせる

通知の読み上げ

自分の情報

なし

Siri と音声入力履歴

Siri に話しかけるだけでさまざまなことができます。 [“Siri” に関心](#) と [プライバシー](#) について。

APPLE からのコンテンツ

“調べる”に表示



Spotlight に表示

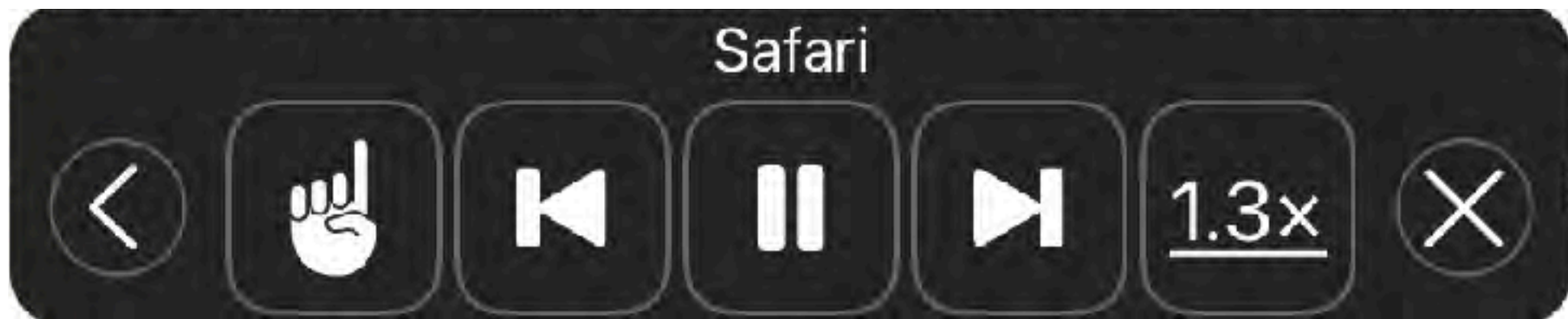
写真内のテキストやオブジェクトを調べたり、検索したりするときに、Apple はエンアンソを表示することができます。
[Siri からの検索](#)、[検索とプライバシー](#) について。

APPLE からの提案

どんな子どもたちが
どんな使い方をできる？！

どんな先生が
どんな使い方をできる？！

音声読み上げ



Hint!

文字を読めないから使う？

読めない理由ってひとそれぞれ！

これって楽してる？！

設定

インターネット共有 オフ

通知

サウンド

集中モード

スクリーンタイム

一般

コントロールセンター

画面表示と明るさ

ホーム画面と Dock

アクセシビリティ

壁紙

Siri と検索

Apple Pencil

Face ID とパスコード

バッテリー

< アクセシビリティ

読み上げコンテンツ

選択項目の読み上げ



テキストを選択すると、「読み上げ」ボタンが表示されます。

画面の読み上げ



画面の表示内容を読み上げるには画面上部から下に2本指でスワイプします。

読み上げコントローラ

オン >

内容を強調表示

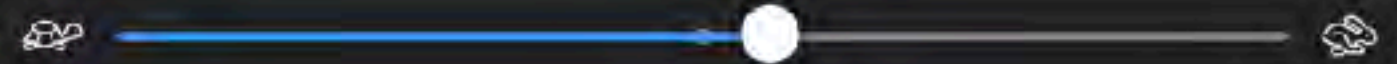
オン >

読み上げ中の内容を強調表示します。

入力フィードバック >

声 >

読み上げ速度



読みかた >

Siri: 「画面を読み上げて」



音声入力



Hint!

文字が分からないから使う？

面倒臭いから使う？

これって楽してる？！

設定

インターネット共有 オフ

通知

サウンド

集中モード

スクリーンタイム

一般

コントロールセンター

画面表示と明るさ

ホーム画面と Dock

アクセシビリティ

壁紙

Siri と検索

Apple Pencil

Face ID とパスコード

バッテリー

< 一般

キーボード

キーボード

13 >

ユーザ辞書 >

自動修正



Caps Lock の使用



入力補助



スマート句読点



キーフリックを使用



自動大文字入力



ビリオドの簡易入力



空白キーをダブルタップでビリオドと空白を入力します。

音声入力



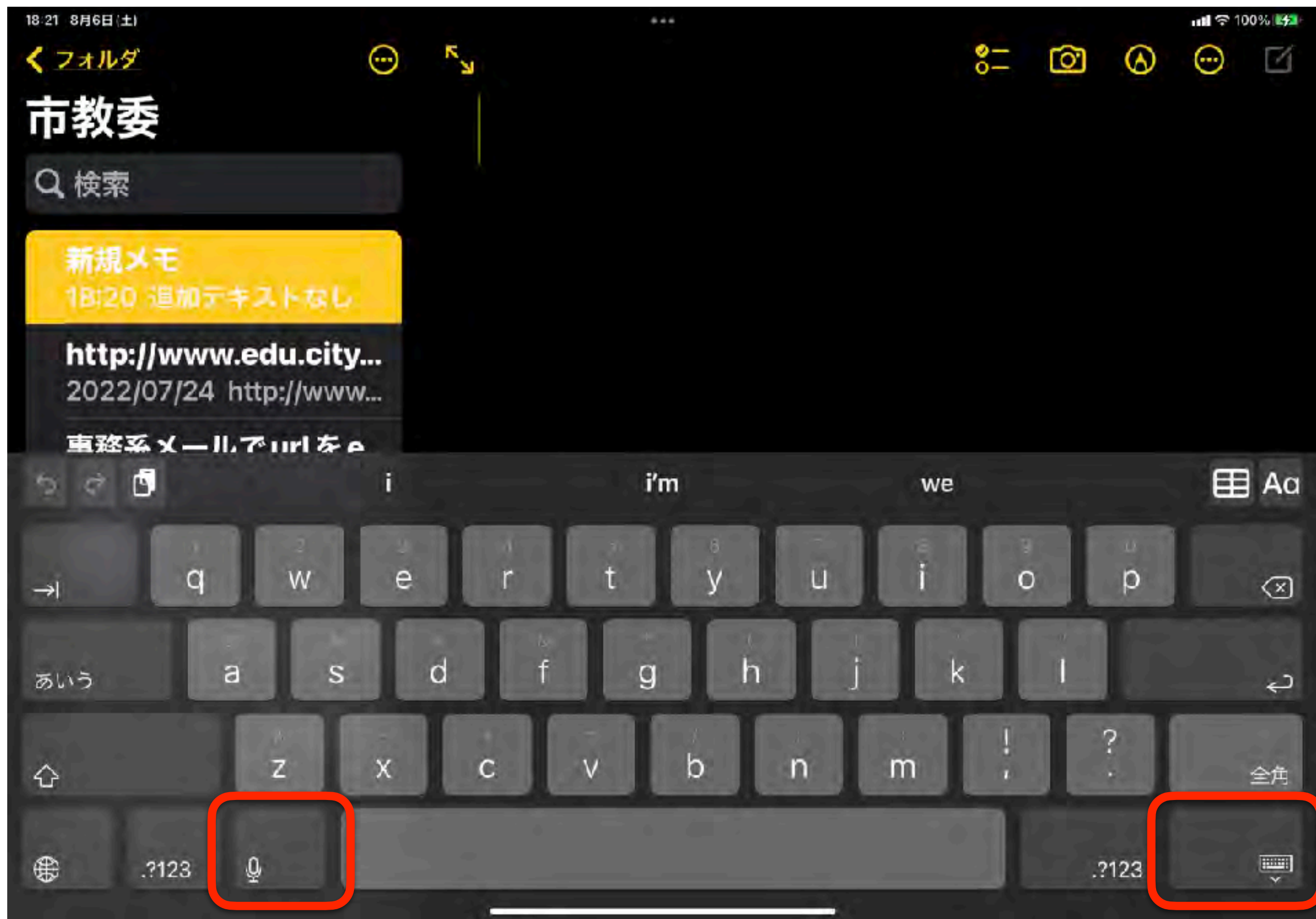
音声入力言語 >

かな入力、ローマ字入力

スマート全角スペース



インターネット接続が必須です



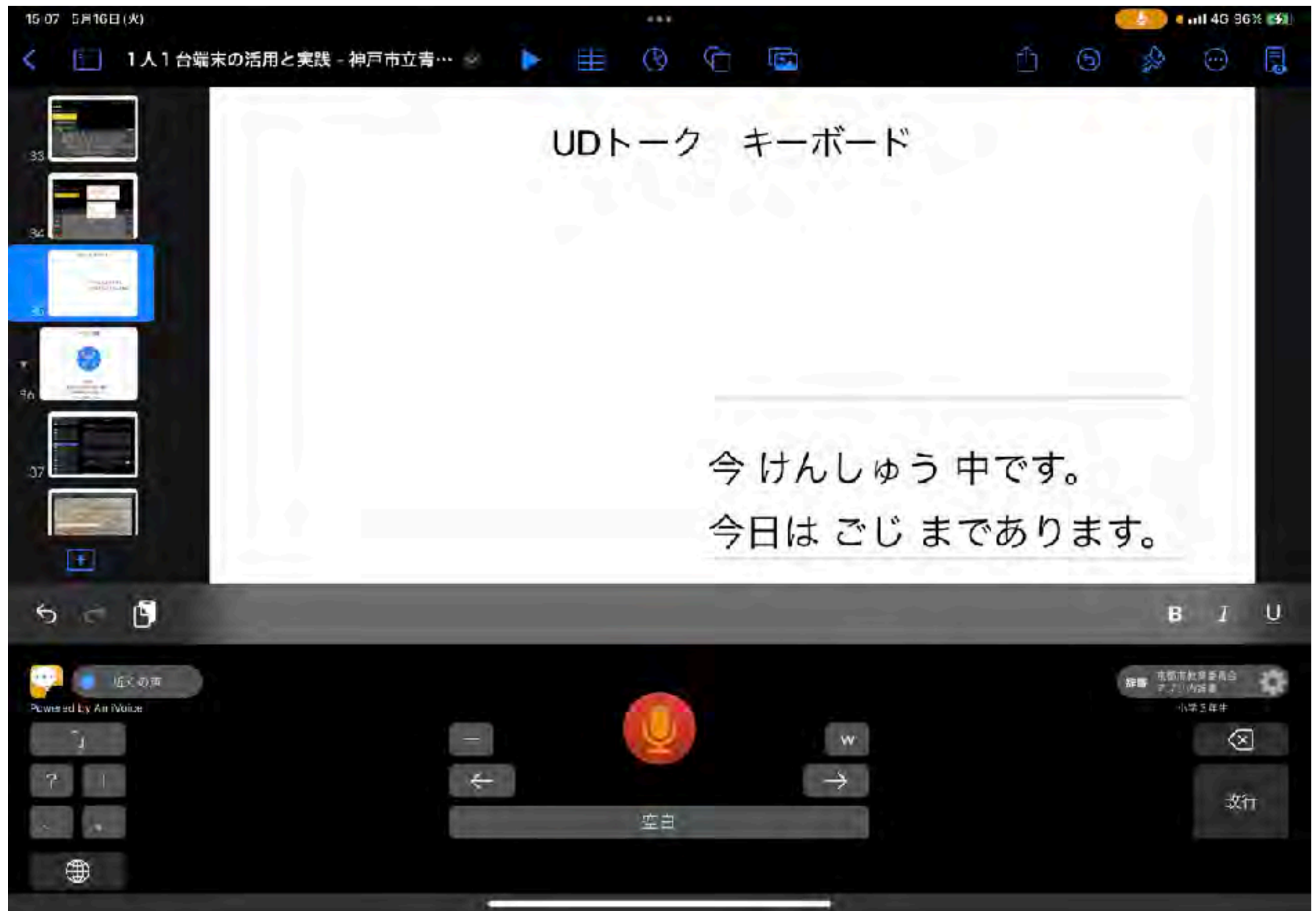
①Start

②Finish

音声入力の方



UDトーク キーボード



テキスト認識



Hint!

文字が分からないから使う？

面倒臭いから使う？

これって楽してる？！

18:30 8月6日(土)

設定

インターネット共有 オフ

通知

サウンド

集中モード

スクリーンタイム

一般

コントロールセンター

画面表示と明るさ

ホーム画面と Dock

アクセシビリティ

壁紙

Siri と 検索

Apple Pencil

Face ID とパスコード

バッテリー

< 一般

言語と地域

編集

iPad の使用言語

日本語 >

使用する言語の優先順序

日本語

English (US)

英語 (アメリカ)

English

英語

言語を追加...

App と Web サイトは、その言語をサポートしている場合はこのリストの一番上の言語で表示されます。

地域

日本 >

暦法

西暦 (グレゴリオ暦) >

温度単位

°C >

テキスト認識表示



画像内のテキストを選択して、コピーまたはアクションを実行します。

地域に応じた書式の例

0:34

2022年8月29日 月曜日

¥1,235 4,567.89

テキスト認識

14:30 7月4日(火) 2022年9月5日 14:02 80%

2 視覚・聴覚障害の早期発見・早期支援への取組

●お問い合わせ●

京都府スーパーサポートセンター (SSC)

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10
(京都府立宇治支援学校内2F)

電話番号 0774-41-3703

FAX 0774-45-2220

E-mail kyoto-ssc@kyoto-be.ne.jp (代表)

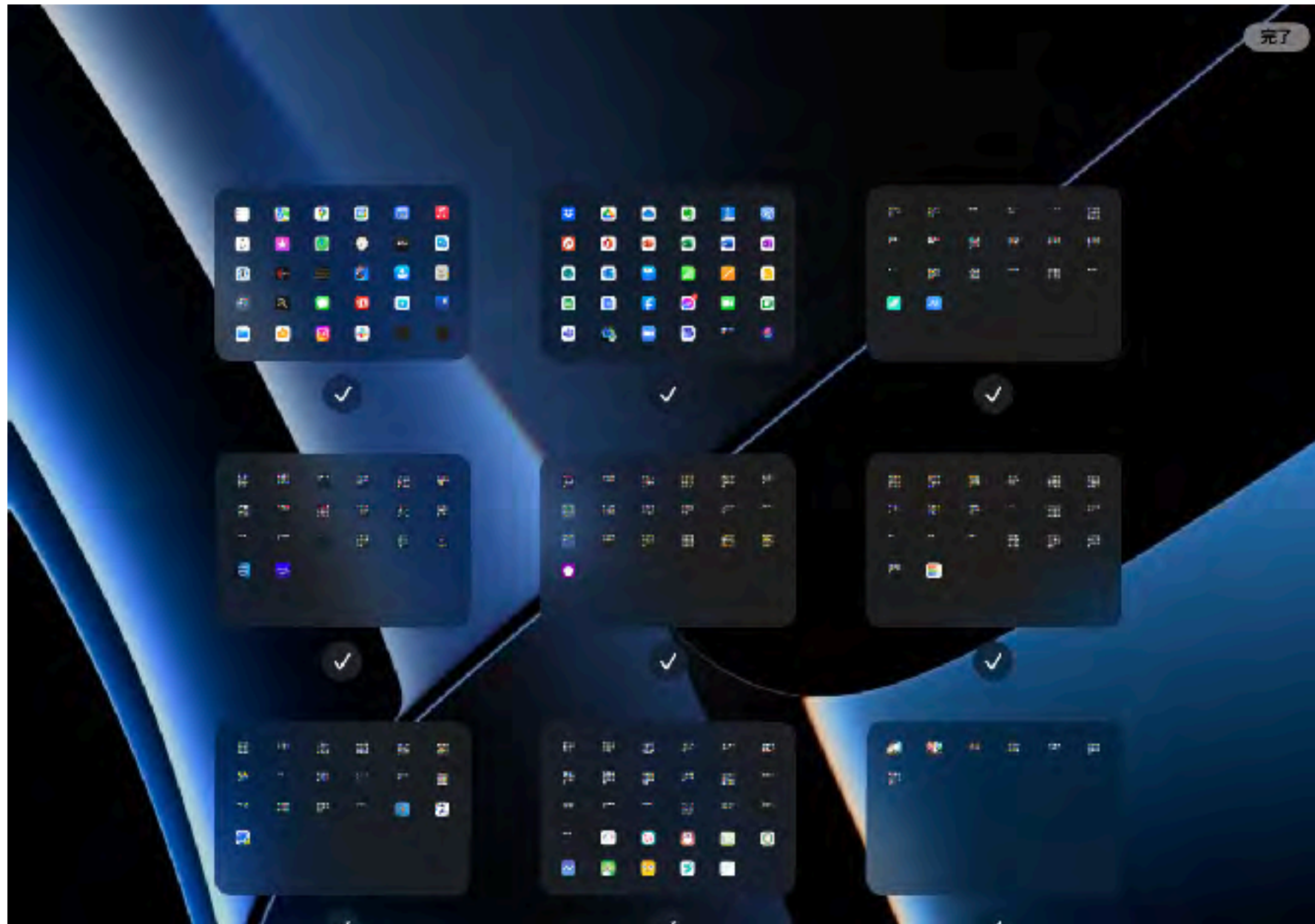
ホームページ <https://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-ssc/cms/>

【ホームページ】

コメントを追加...



unnecessary pages of non display



Hint!

情報の整理
画面の並び替え

unnecessary pages non-display

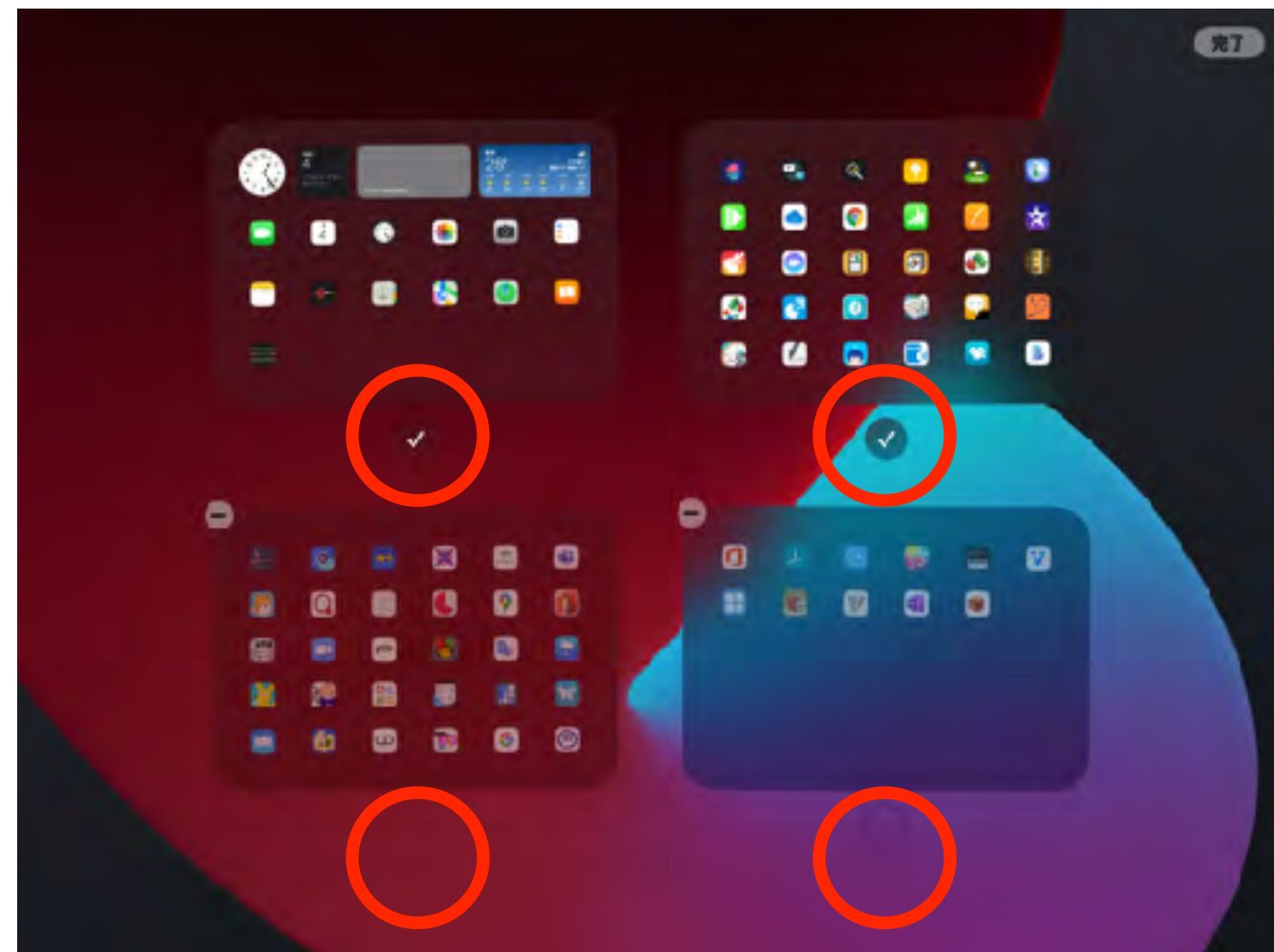
授業中に unnecessary アプリを 1 画面にまとめて非表示にします

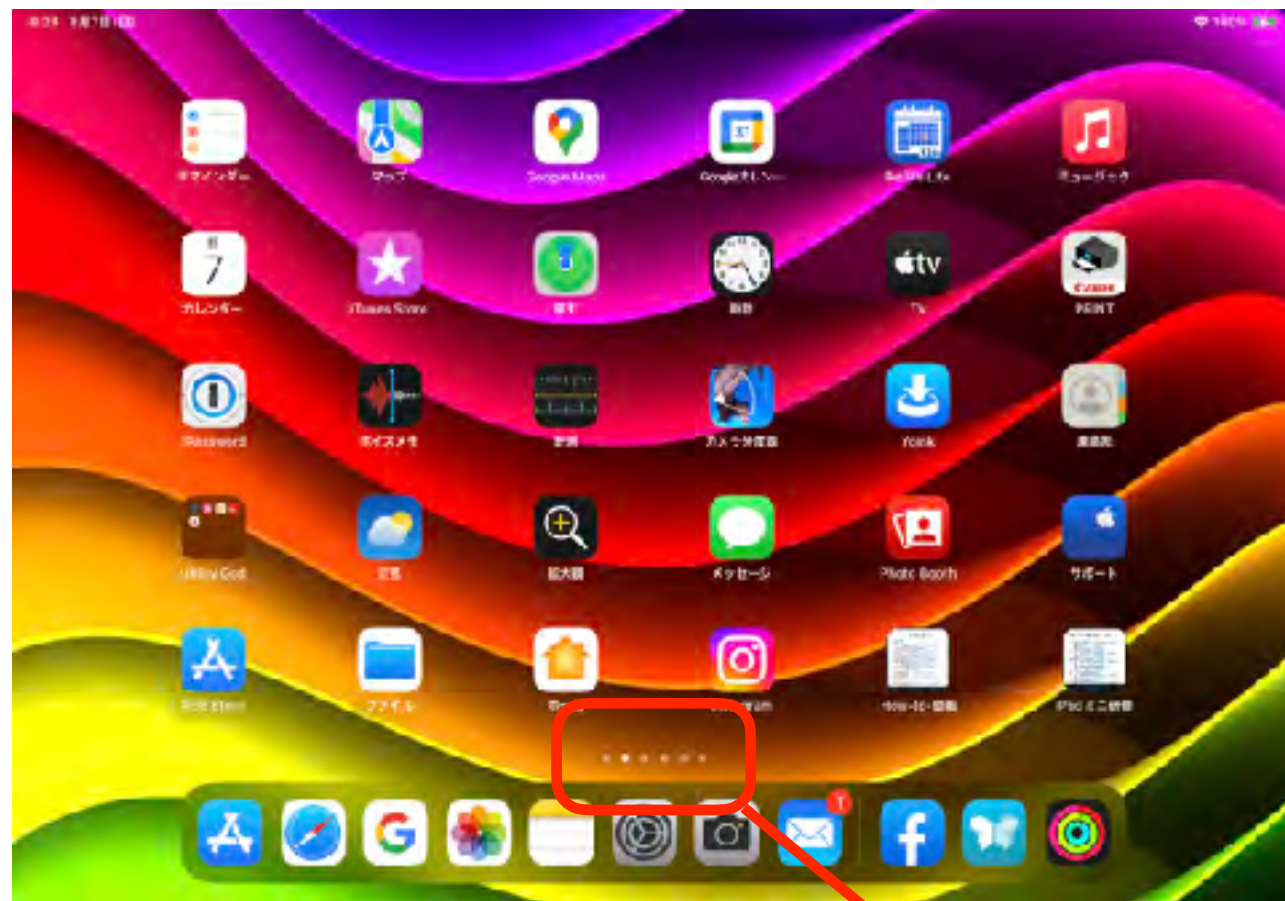
デスクトップ画面表示中に画面を長押しして、 をタップします



非表示にしたい画面のチェックを外します。

(アプリ自体が削除されることはありません)





付録

R03年度 10回シリーズ ミニ研修

(標準機能からのスキルアップ)

1回目	2回目	主な内容	
5/11	5/25	カメラの使い方、簡単授業活用、テレビに拡大提示	代替
6/8	6/22	様々な動画の撮影、タイムラプス、スロー	
7/6	7/13	入力の方法、音声入力、Siri、キーボードの追加	増強
9/7	9/28	画像の編集、簡単授業活用	
10/12	10/26	動画の編集、簡単授業活用	修正 変更
11/2	11/29	授業で使えるアプリ体験1 授業進行	
12/7	12/14	授業で使えるアプリ体験2 教材作成	変革
1/11	1/25	授業で使えるアプリ体験3 読み書きの代替	
2/1	2/15	授業で使えるアプリ体験4 プログラミング	
3/1	3/15	コントロールセンターの活用、アクセシビリティ解説	

iPad ミニ研修（10回）～GIGA スクール構想に向けて～

1 回名：初級編(代替)：基本操作，カメラの使い方，簡単授業活用，テレビに拡大提示

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/ipadmini01.pdf>
- ・動画 1(16 分) <https://youtu.be/29TcxI38zt0>
- ・動画 2(15 分) https://youtu.be/C2VI93o_EyI
- ・動画 3(13 分) https://youtu.be/NKvD3_Jhwm4

2 回名：初級編(代替)：様々な動画撮影，タイムラプス，スロー

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/ipadmini02.pdf>
- ・動画 1(14 分) <https://youtu.be/ptz0sCJMCh8>
- ・動画 2(7 分) <https://youtu.be/u2Vfu905uIg>
- ・動画 3(3 分) <https://youtu.be/EffqlgI-0E4>

3 回目：初級編(代替)：入力の方法，音声入力，Siri，キーボードの追加

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/ipadmini03.pdf>
- ・動画 1(12 分) <https://youtu.be/rQrcSpVNzAs>
- ・動画 2(12 分) <https://youtu.be/YyryZMrYavM>
- ・動画 3(10 分) https://youtu.be/dUOwAiAs_7c

GIGA HP「How-to-動画」に掲載（R050802）

※支援機器・グッズ展示コーナー 紹介ビデオ

<https://youtu.be/BPwkCEa-Hnc>

<iPad(GIGA)>

【ビデオ・カメラ】

- ・「Clips」でキラキラ動画を撮影する方法 <https://youtu.be/vAfSdeJE-Uw>
- ・「Clips」で動画にキラキラや吹き出しをつける方法 <https://youtu.be/FwXEQhRUghc>
- ・「カメラ」でスロー撮影する方法 <https://youtu.be/d2S4sCuTTrk>
- ・「カメラ」で雲の動きをタイムラプス撮影する方法 https://youtu.be/N9iB_cccl_g
- ・「iMovie」でオーバーレイビデオを作成する方法 <https://youtu.be/6ihM-jJo6qA>

研修動画より「iMovie_No1」 <https://youtu.be/r9olsqAQrdY>

研修動画より「iMovie_No2」 <https://youtu.be/BVKHGvId6fA>

- ・「写真」アプリで注目させたい所だけを拡大する方法 <https://youtu.be/...>
- ・「Touch Color Agent」で注目させたい所だけを着色する方法 <https://youtu.be/...>
- ・「StopMotionStudio」で作品を撮影する方法 <https://youtu.be/gEqG...>
- ・「Skitch」で写真に簡単にモザイクをかける方法 <https://youtu.be/...>
- ・「MovStash」で動画にボカシを入れる方法 <https://youtu.be/Hvh4Qt...>
- ・「Piccollage」で写真を装飾する方法 <https://youtu.be/YRhCHBITA4...>
- ・「Piccollage」で複数の写真を一つの写真にする方法 <https://youtu.be/...>
- ・「VBooster」でビデオの再生速度を変更する方法 <https://youtu.be/...>

研修動画より「VBooster」 <https://youtu.be/...>



今日のまとめ

機器を与える親の心構え

自立は、依存先を増やすこと

熊谷晋一郎さん（くまがやしんいちろう）

小児科医／東京大学先端科学技術研究センター・特任講師

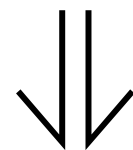
1977年、山口県生まれ。

“障害者”というのは、「依存先が限られてしまっている人たち」のこと。健常者は何にも頼らずに自立していて、障害者はいろいろなものに頼らないと生きていけない人だと勘違いされている。けれども真実は逆で、健常者はさまざまなものに依存できていて、障害者は限られたものにしか依存できていない。依存先を増やして、一つひとつへの依存度を浅くすると、何にも依存してないかのように錯覚できます。“健常者である”というのはまさにそういうことなのです。世の中のほとんどのものが健常者向けにデザインされていて、その便利さに依存していることを忘れているわけです。

就労（社会人）への課題

自己認知・特性の理解
どう付き合っていくか？

人より劣っていると思うこと



メリットとする思考
リフレーミング

ASD（自閉スペクトラム症）

ADHD（注意欠如・多動症）

SLD(限局性学習症)

DCD（発達性強調運動障害）

知的肢体不自由・病弱・盲聾

導入時期

ツール（手段）の選択肢を一つでも多く獲得

如何にして学習のスタートを揃えるか

児童・生徒の年齢に合わせて、さまざまな方法を組み合わせた支援を行っていく必要があります。

基本的に、年齢が小さい場合には、「できないことをできるようにする」というボトムアップの支援が中心

読み書きが困難、という状況に対して、その子どもが身につけやすい方法を探し、練習を積み重ねて、スムーズにできるようにする方法です。

その一方で、年齢が上がってくると、学校で学ぶ知識も多くなってくるので、困難を抱えながらも、なるべくハンディキャップを背負わずにすむよう、さまざまなツールを使いこなす練習も必要になってきます。

そのような補助代替ツールとしては、タブレットやスマートフォンでのメモ入力やカメラ機能、音声認識アプリ・録音機能、電卓などが、大人になっても活用しやすいものとして挙げられると思います。

ボトムアップの支援を続けながら、さまざまなツールの活用方法も学び、自分に合った方法を探す練習を行っていけると、児童・生徒が、自分にとって必要な支援を理解し、将来的には自分から他者の援助を得られるようにしていくための手助けができると思います。

ルールやマナー

与えるリスク

導入が早すぎると
input,outputの選択肢を
狭めてしまうかも・・・

メリットデメリット

苦手さのアセスメント



苦手さを補完



リマインダー

11:59 2月2日(木)

0

今日

1

日時設定あり

7

すべて

0

フラグ付き

✓

実行済み

iCloud

リマインダー

1

Outlook

ATDS

0

京都市教委

1

タスク

0

Personal

5

リストを追加

リマインダー

○ テスト

キャンセル

詳細

完了

日付

☐

時刻

☐

タグ

場所

☒

現在地

乗車時

降車時

カスタム

到着時: 8:00-8:05 京都府京都市下京区 中之町 584-1 日本

①

メッセージ送信時

☐

このオプションを選択すると、「メッセージ」で選択した人とフラグアップするときにリマインダー通知が表示されます。

フラグを付ける

☐

新規

困った子ではなく
困っている子

LD

Learning Disability

「学習障害」

ではなく

Learning Difference

「学び方が違う」

子どもたちの困りは
どこにあるのか？

本人？

授業？

ユニバーサルデザイン授業
は万能では無い！

どんな支援でも合わない子は存在する

代替手段（ICTの活用）は不便！！

読む、書く、計算する、記憶する
出来たほうが便利に決まっています

でも

代替手段で出来れば
出来ないよりもはるかに便利ですよ

本人が用途に応じて
手段を選択できる力が必要

本人が支援をプレゼンできる力が必要

受験で機器の使用が認められないから
普段の授業でも書かせる

って適切な判断ですか？

合理的配慮の名のもとに
代替手段を安易に提供することは
結局不便さを強いているのかも・・・

アセスメントの大切さ

本人が選択することの重要さ

鉛筆の持ちかた・学習姿勢は1年生の内に
姿勢保持・読むことの見極めは低学年で
通級指導は3年生から
学習の壁は4年生から
中学年までに自己肯定感を下げない
ICTを活用した合理的配慮は5年生から
中学校では自分から必要な支援を伝える力

参考図書



Q&Aで
わかる

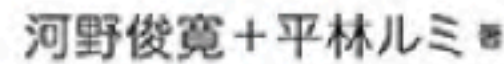
発達障害・
知的障害^{のある}子どもの

SNS利用

ガイド



【監修】金森 克浩
【著】海老沢 穰
高松 崇
新谷 洋介



読書工房

読書工房



井上眞子著



学びにくさのある子への

読み書き支援

いま目の前にいる子の「わかった!」を目指して

きっと方法はある!

ICTも!
アナログも!



Gakken

特別支援教育  ニテーマブック

ICT活用

新しいはじめの一歩

青山新吾
編集代表

郡司竜平 著



LDの 「定義」を 再考する

(編集)——一般社団法人 日本LD学会

(編纂)——小眞 悠・村山光子・小笠原智史

Learning
Disabilities

上野一彦

杉崎 雅哉

藤 仁

竹田 賢一

宮本 信也

山中ともえ

海津 豊希子

近藤 武夫

西岡 有香

田中 裕一

荒崎 芳子

菊田 史子

高橋 知哉

松 敦

小笠原 智史

尾崎 敏正

特別支援教育サポートBOOKS

タブレットPCを 学習サポートに 使うための Q&A

河野俊寛 著

インターネットにつながら
ないと使えない？

指先が不器用なときは
どうしたらいい？

学習に使えるアプリの
見つけ方は？

いつ頃から使い始めれば
いいの？

入試に向けて使うときに
気をつけることは？

これで解決！
学習サポート
ツールとしての
活用法

明治図書

決定版！ 特別支援教育の ためのタブレット活用

今さら聞けないタブレットPC入門

編著者 金森 克浩

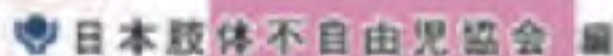
執筆 新谷 洋介／氏間 和仁
小川 修史／高松 崇



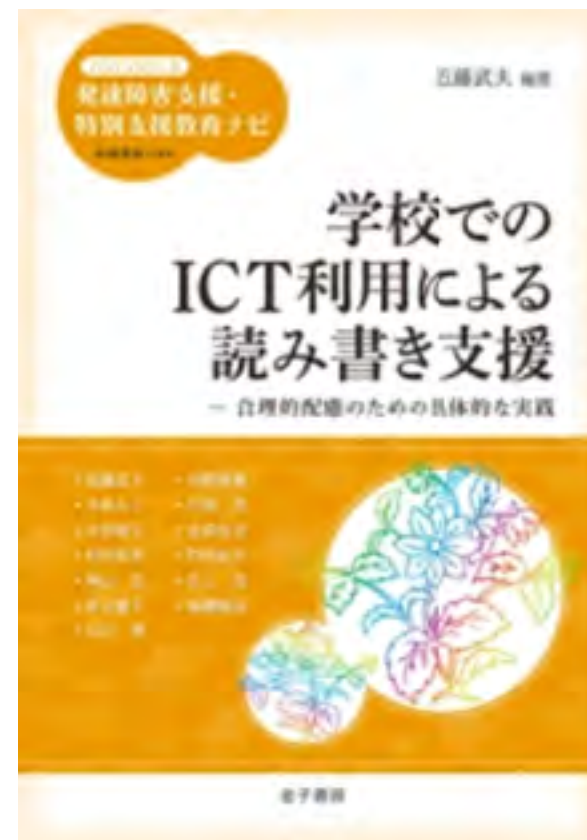
シアース教育新社

～＜続＞肢体不自由児のためのタブレットPCの活用～

～＜続＞肢体不自由児のためのタブレットPCの活用～

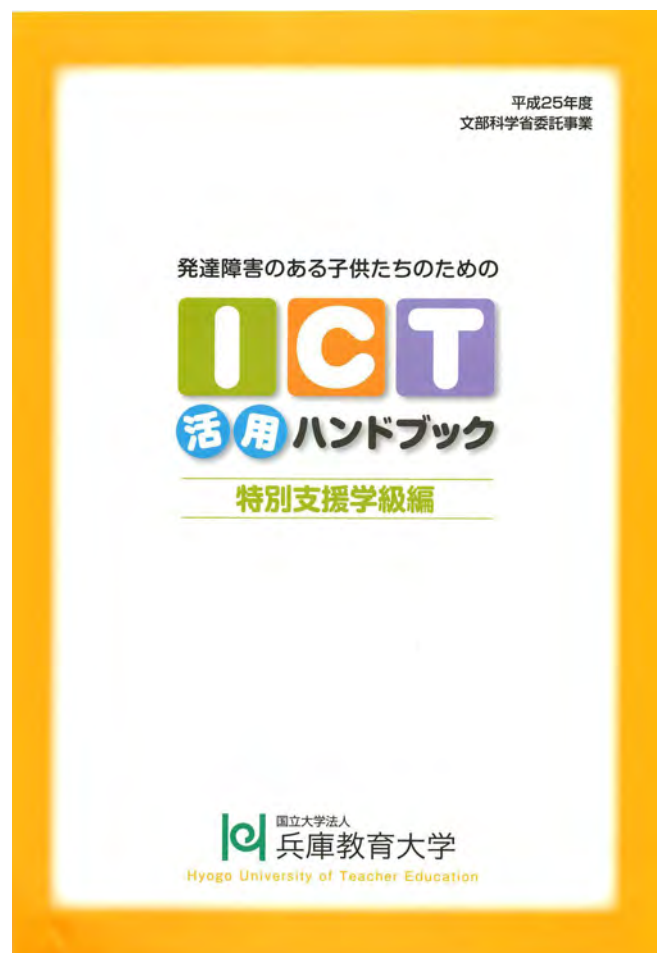


東京大学先端科学技術研究センター 関係



文部科学省

発達障害のある子供たちのための ICT活用ハンドブック



特別支援学級編



通常の学級編



通級指導教室編

EDGE



学習支援員のためのガイドブック

特別支援教育 実践テキスト [第2版]



Special needs Education Guide For Learning Support Assistant

特別支援教育実践テキスト 第2版

能力を引き出し伸ばす支援

通常学級における発達障害の
児童生徒への支援ガイドブック

Knowledge in Demand



ATDS

Assistive Technology Dissemination Society

NPO法人支援機器普及促進協会

<http://npo-atds.org>

<https://www.facebook.com/takamatsu.takashi>

